

〒920-8640 金沢市宝町13の1 金沢大学医学部 十全同窓会会報 編集委員会

(題字:中村信一 十全同窓会会長)

十全同窓会会長 中村信

新年のご挨拶



新年あけましておめでとうございます。 新年あけましておめでとうございます。年お迎えのことと、お慶び申し上げます。年お迎えのことと、お慶び申し上げます。年前にあたり、母校金沢大学医学類ならびに頭にあたり、母校金沢大学医学類ならびに頭にあたり、母校金沢大学医学類ならびにが希望に満ちた年になります。

いと未だ不確かな治療法に対する恐れなきたに相違ない、「人命を救わんとする強い願た蘭方医黒川良安とその門下生の心にあった蘭方医黒川良安とその門下生の心にあった別方医黒川良安とその門下生の心にあった。

みたく存じます。 挑戦」、このことを新しい年の初めに胸に刻

昨年七月会長に就任して以来、早くも昨年七月会長に就任して以来、早くも支部総会に出席させていただく等、会員の皆様からの暖かいご支援・ご協力を賜り、深く感謝いたしております。本年も、会員相互の親睦の増進、十全同窓会報の充実、学生課外活動や医学図書館への補助・整備学生課外活動や医学図書館への補助・整備がいる所存でございます。本年も、会員をお願いでは皆様のご活躍に役立てたいと考えています。さらに、本年は会員名簿改訂の年でもあり、年内には皆様のお手元にお届け致したく存じます。会員の皆様のご活躍に役立てたいと考えています。さらに、本年は会員名簿改訂の年をと会員の皆様のご活躍に役立てたいと考えています。とご支援をお願い申し上げます。

棟)が竣工したことです。C棟新築は、宝町・て頂きます。第一には、医学系臨床研究棟(Cと同窓会に関係したことを幾つか紹介させ年頭所感にかえて、昨年及び本年の母校

印刷/ヨシダ印刷(株) 研究棟建設には、昭和十五年に本学を卒 との思いを強くした次第です。また、この 多くの方々のご協力・ご支援の賜物である 森喜朗元内閣総理大臣から、ご祝辞を頂き 創立百五十周年の年(平成二十四年)に着 成二十二年三月に着工、第二期工事は生み 初計画最後の事業であり、第一期工事は平 学研究の中核拠点として成長されることを 待と思いが詰まった母校が世界に通ずる医 **六年)が大きな力となりました。多くの期** 業された故渡辺治先生からのご寄付(平成 日に記念式典が挙行されました。式典では、 工され昨年三月十四日に竣工し、五月十六 の苦しみを嘗めながらも、金沢大学医学部 鶴間地区再開発・金沢大学総合移転事業当

の「スーパーグローバル大学創成支援事業 が開通します。多くの会員の皆様が新装なっ とのことです。三月十四日には北陸新幹線 件です。金沢大学は昨年九月、文部科学省 第四は、「スーパーグローバル大学」推進の 準備が順調に進展することを願っています。 準備の最終年となります。同大学院開設の 度に右記大学院を開設する予定で、本年は の「国立大学改革強化推進事業」に採択され、 件です。本事業は平成二十五年度に文部省 共同大学院 (先進予防医学専攻)」 設置の 昨年十二月に着工したことです。本年九月 国費による)」が、本年七月に完成の予定で、 百五十周年事業の掉尾を飾る「十全講堂か 願ってやみません。第二には、医学部創立 大学・長崎大学が共同して、平成二十八年 金沢大学を代表校として、千葉大学・金沢 して頂きたく存じます。第三には、「三大学 た宝町キャンパスへご来訪され、母校を励ま には臨床研究棟の取り壊しも完了する予定 整備事業(十全同窓会からの寄付、金沢市、 ら正門までのメインプロムナードの総合的

ります。ご協力を宜しくお願い致します。では、海外臨床研修・国際共同研究等の充ては、海外臨床研修・国際共同研究等の充活することを強く願っています。第五に、金別することを強く願っています。第五に、金別することを強く願っています。第五に、金別することを強く願っています。第五に、金別するに、一般のでで、一般のでは、一般

拶とさせて頂きます。 い年になりますよう祈念し、年頭のご挨 また、母校ならびに同窓会にとって、よ 最後に、本年も会員の皆様にとって、

学生課外活動支援報告……… 創立百五十周年記念事業の 新年のご挨拶…………… 編集後記………………… 学生コーナー……………… 医師会コーナー…………… 同窓生の消息……………… 教授退任記念講演会‧記念式… プラタナスカフェオープニングセレモニー・・・ 就任挨拶…………………… 進捗状況・秋の叙勲………… 寄附制度のご案内………… 十全昔話…………………… クラス会………………… 支部だより………………… 病院紹介………………… 「スーパーグローバル大学」に選定… 教室だより………………… 目 次 9 8 7 6 6 3 28272624201918151311 2 1

創立百五十周年記念事業の進捗状況

百五十周年記念事業実行委員長・医学類長 多久和 陽

ません。これもひとえに、十全同窓会会 員各位のお力添えの賜です。 計画が高く評価されたことは間違いあり る百五十周年記念事業という三位一体の 遊歩道整備事業、一億円の自己資金によ 設整備事業、金沢市の医学部・病院前の 申請されたようですが、文部科学省の施 の大学から本学と同様の施設整備要求が 窓会からのご寄付を合わせた一億円と、 ました。皆さまから賜った募金と十全同 本年度国からの予算として記念館とプロ れたことが報告されました。約二億円が 府補正予算案に盛り込まれて閣議決定さ 整備事業」の二つが、平成二十五年度政 の改修工事」と「メインプロムナードの た事業のうち残っている「医学部記念館 年記念事業として当初計画しておりまし 医学類長より、本学医学部創立百五十周 す。平成二十六年度概算請求には、複数 ナードの整備事業」に充当できる資金で 国からの二億円を合わせた約三億円が、 ムナードの整備に充てられることとなり 記念館の改修工事」+「メインプロム 昨年の本会報百五十六号で、山本健前

玄関から市道の方向に向かって真っすぐ観となります。プロムナードは十全講堂して、宝町キャンパスのシンボル的な景して、宝町キャンパスのシンボル的な景けて、宝町キャンパスのシンボル的な景に排除した幅広い欅並木の遊歩道で、歩に排除した幅広い欅が木の遊歩道で、歩計画では、プロムナードは車両を完全

調を考えております。二階の集会室は充 復元する予定です。現在の正門門柱は明 門柱の採寸結果と明治期の写真と重ね合 針としております。明治期の正門は、 専門学校の正門を復元することを基本方 現在の位置より病院側に二十~三十メー かった整備となる予定です。 安全性に留意しつつ周囲との調和をは して行われます。既存の樹木を保存し、 パス敷地境界に沿った遊歩道整備も並行 けます。金沢市で整備される宝町キャン 若手研究者や学生の交流・集いの場を設 ションルームとなり、ホールの一部には 実した視聴覚機器を備えたプレゼンテー と壁面は黒色調、床は茶系統の明るい色 したいと考えております。展示室の天井 面的に改装します。展示室は、展示物を 存予定です。医学部記念館は、 治期のものであり、医学部記念館前で保 わせることにより、明治期の正門全体を であると想定されています。現存の正門 の医学類正門門柱は、明治期の外側門柱 配置されておりました (写真一)。現存 側に大門柱(内側)と小門柱(外側)が トル移動いたします。正門は、金澤醫學 に伸びます。従いまして、正門の位置は 時移転させ、内装を一新し展示を工夫 内部を全

報告させていただきましたように、気掛ります。前号百五十八号で進捗状況をご月に完成させる予定で計画が進行してお早ければ本年七月にも着工し、来年六

ることを願っております。 事業の工事が大きな遅れを見ずに進捗すざまな新規工事が遅れております。記念どのために、この一一二年の本学のさまどのための土木工事職人の東北への集中なかりな点としまして、東日本大震災復興

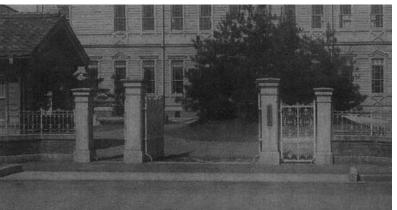
秋の叙勲

瑞宝中綬章

高橋 守信

(Ⅱ会員)

記念事業実行委員長として、記念事業記念事業実行委員長として、記念事業記念事業をはじめ十全同窓会長の皆様に深甚の感謝をめ十全同窓会会員の皆様に深甚の感謝を申し上げます。創立百五十周年記念事業が有終の美を飾る日を、楽しみに待ちたが有終の美を飾る日を、楽しみに待ちたが有終の美を飾る日を、楽しみに待ちたいと存じます。



(写真一)金澤醫學専門学校正門

瑞宝小綬章

森田 信人

旭日双光章

(昭和四十三年卒業) (昭和三十九年卒業) (昭和三十九年卒業)

村田 敏夫 報宝双光章





教育棟」が竣工し、現在は「中央診療棟」 沢医科大学氷見市民病院内に「教育研修 が完成しました。更に翌二十五年には金 また平成二十四年十月の本学創立四十周 沢医科大学氷見市民病院の移転・新築」、 ランドデザイン・プロジェクト」(二〇一〇 性を強化するため、平成二十二年から「グ の老朽化と塩害による腐食化、また耐震 二十三年四月に理事会にて推薦を受けま 学の理事長再任の命を受けました。平成 画では、「学部棟」、「動物実験棟」、「図書 の建設にとりかかっております。第二次計 棟」、平成二十六年九月には本学の「医学 年記念式典に合わせて「レジデントハウス」 アナトミーセンター」をはじめとし、「金 計画では平成二十三年二月に竣工した「新 大学では開学以来、約四十年を経て施設 してからの二期目であります。金沢医科 ~二〇一九)がスタートしました。第一次 平成二十六年四月一日付で金沢医科大

> 成したいと思っております。 が関立五十周年までには全棟一新した学園に はる資金が必要ですが、何とか卒業生は なる資金が必要ですが、何とか卒業生は なる資金が必要ですが、何とか卒業生は なる資金が必要ですが、何とか卒業生は なる資金が必要ですが、何とか卒業生は なる資金が必要ですが、何とか卒業生で、

芽が育つように環境づくりに努力します。 ますので楽しみです。私としてはその様な 学外資金が増加し、あらゆる方面で研究 卒業生の母校での活躍は大学にとって大 研修医の母校での研鑽は年々増加してお 沢大学に追いつく程になり喜んでおりま ベル賞クラス?の研究の芽が生まれており きる業績はありません。しかし近年ノー が進んでおりますが、未だ世界に発信で トハウスの建設も効果があったようです。 と期待しております。近代的なレジデン きな財産であり、地域医療に貢献できる り、最近では五十%に近づいております。 全国で医療に携わっております。念願の 人以上と多くの医師・看護師を輩出し、 部卒業生(看護専門学校含む)が二千百 す。医学部卒業生が三千七百人、看護学 師国家試験の合格率が上昇し、母校の金 たいと思っております。幸い最近では医 の建学の精神を忘れずに医学教育を続け 医科大の使命である「良医を育てる」と 研究面では年々、科研費を中心とした ハード面は以上のようですが、本来の

在宅医療の充実も視野に入れております。ておりますが、負けるわけにはいきません。ておりますが、負けるわけにはいきません。すったです。私立大学の医学教育の一環として、将来の高齢者の激増を睨んで「サ高住」て、将来の高齢者の激増を睨んで「サ高住」で、将来の高齢者の激増を睨んで「サ高住」の建設などの計画も必要になりますが、年々医療次に病院経営でありますが、年々医療

取り残されてはなりません。
建設する予定であります。時代の流れに研究と臨床のために再生医療センターを研究と臨床の

と思っております。
と思っております。
この様に多くの将来構想があります。
この様に多くの将来構想があります。

金沢大学子どものこころの発達 **菊知 充博士**



任教授を拝命しました。 子どものこころの発達研究センターの特平成二十六年四月一日付で、金沢大学

> させていただきました。そして精神科は単 養所北陸病院で常勤医として、 す役割について学ばせていただきました。 足の地域を中心に、現在まで絶えず従事 院、加賀こころの病院など、精神科医不 津総合病院、富山市民病院、金沢市民病 立輪島病院、 急医療を含めた地域医療の現場に携わっ 立能登総合病院、 れまでの二十年間に、地域で精神科の果た きました。これらの臨床経験を通じて、こ ての民間病院で、当直などをさせていただ 科の病院が多いのですが、県内のほぼすべ てまいりました。外来業務としては、市 珠洲市総合病院、公立宇出 福井県立病院、

次ページに続く

田嶋 敦博士

革新ゲノム情報学教授に就任金沢大学医薬保健研究域医学系



す。

でお借りして、ご挨拶を申し上げま情報学の教授を拝命いたしました。紙学医薬保健研究域医学系 革新ゲノム学医薬保健研究域医学系 革新ゲノム平成二十六年九月一日付で、金沢大

私は、平成四年に京都大学薬学研究科修士課程(薬理学)を修了したのち、東修士課程(薬理学)を修了したのち、東修士課程(薬理学)を修了したのち、東修士課程(薬理学)を修了したのち、東修士課程(薬理学)を修了したのち、東原本なとト表現型の多様性に強く興味を抱き、その遺伝学的基盤の理解を主たる目的として総合研究大学院大学博士後期課程(先導科学研究科 生命体科学専課程(先導科学研究科 生命体科学専課程(先導科学研究科 生命体科学専盟伝的多様性に関する系統地理学的研究 (理学)を取得いたしました。学位取得後、平成十六年からは、ゲノム

医科学と呼ばれる研究領域で、疾患表現型とゲノム多様性との結びつきを解明するための研究に取り組んでおります。東京大学医科学研究所、東海大学医学部で助教、講師などをつとめたのち、平成で助教、講師などをつとめたのち、平成で助教、講師などをつとめたのち、平成の対象教授)において、准教授としてゲノム医科学に係る研究・教育に携わって参りました。

十全同窓会の先生方はご高承のことと存じますが、平成二十八年度から先と存じますが、平成二十八年度から先を育研究センターが新設されました。そ育研究センターが新設されました。そ育研究センターが新設されました。そうびに本学の学士・大学院課程におけらびに本学の学士・大学院課程における教育・研究に携わる機会を頂戴した次第でございます。若輩の身ではございますが、生活習慣病などの多因子疾患を遺伝・環境面から統合的に理解し、いますが、生活習慣病などの多因子疾患を遺伝・環境面から統合的に理解し、からないますが、生活習慣病などの多因子族を遺伝・環境面から統合的に理解し、中全により、

う、よろしくお願い申し上げます。は、今後ともご指導ご鞭撻を賜りますよけ全同窓会の諸先生におかれまして

経験をさせていただきました。 経験をさせていただきました。本当に恵まれた は、スイスのベルン大学附属精神病院精神 は、スイスのベルン大学附属精神病院精神 は、スイスのベルン大学附属精神病院精神 は、スイスのベルン大学附属精神のに対して がらご指導賜りました。大学院卒業後 と回答者では、大学院卒業後 と回答者での一連の仕事を、

用MEGが試作される運びとなりました。 名誉教授の采配のもと世界で二台目の幼児 期診断に取り組む産学連携事業(北陸健 れている金沢大学子どものここの発達研究 は、平成二十年度、東田陽博教授が主宰さ こととなりました。研究遂行のために私 これら一連の研究の担当をお任せいただく 的脳機能データ解析を続けていた事から、 究室が設置され、三邉義雄教授と村上清史 た。同じ頃、 のここの発達研究センターが開設されまし 私は、それまでに精神科疾患関連の非侵襲 (MEG)リサーチセンターに、金沢大学研 て横河電機株式会社の金沢事業所の脳磁図 康創造クラスター)が始まりました。そし 脳情報病態学に就任され、金沢大学子ども 私が帰国後まもなく、三邉義雄教授が 自閉症スペクトラム障害の早

たのは、文理融合、医工連携、産学連携のたのは、文理融合、医工連携、産学連携のたのは、文理融合が進んでいることでした。医学生物学、言語学、発達心理学、工学、哲学生物学、言語学、発達心理学、工学、哲学生物学、言語学、発達心理学、工学、哲学生物学、言語学、発達心理学、工学、哲学生物学、言語学、発達心理学、工学、哲学生物学、言語学、発達心理学、工学、哲学生物学、言語学、発達心理学、工学、哲学生物学、言語学、発達心理学、工学、哲学生物学、言語学、発達心理学、工学、哲学生物学、言語学、発達心理学、工学、哲学生物学、言語学、発達心理学、工学、哲学、社会ので、公児の健やかなこころの育成:特異から得意への健やかなこころの育成:特異から得意へのプラダイムシフト」(代表:三邉義雄教授)が採択されました。現在、私はその流れの神で「幼児の健やかなる成長」という難題中で「幼児の健やかなる成長」という難題をいきない。

まだまだ若輩の身ですが、金沢大学のまだまだ若輩の身ですが、金沢大学のし上げます。そして、これからもより一と上げます。そして多くの先輩から、その時々にあまれた環境で勉強させていただきました。そして多くの先輩から、その時々にし上げます。そして、これからもよりし上げます。そして、これからもよりしくお願い申しあげます。

石田文生博士(昭和五十八年卒業)

消化器センター教授に就任昭和大学横浜市北部病院



ただきました。大学院では第二病理太田北部病院消化器・一般外科をご指導いを卒業後、岩喬教授が主宰された第一外を卒業後、岩喬教授が主宰された第一外をが、岩喬教授が主宰された第一外をが、岩喬教授が主宰された第一外

脳・脊髄機能制御学教授に就任金沢大学医薬保健研究域医学系円田 光俊博士 (平成六年卒業)



たしました。制御学(脳神経外科学)の教授を拝命い学医薬保健研究域医学系 脳・脊髄機能平成二十六年十二月一日付で、金沢大

理学)のもとで研究を開始し、脳腫瘍 貫して脳腫瘍の基礎・臨床研究に従事 純宏教授が主宰されていた講座に入局 潤とチロシンキナーゼの研究を展開し で浸潤と細胞外微小環境の研究を行い、 学位を取得いたしました。その後、が 浸潤と細胞外基質分解酵素の研究にて してまいりました。がん進展制御研究 特に脳腫瘍に関心を持ち、現在まで一 ん進展制御研究所 佐藤博教授のもと ました。研修医時代の臨床経験から 私は平成六年に本学を卒業後、 研究所Berens教授のもとで脳腫瘍浸 ·成十四年より米国アリゾナ州バロー 岡田保典教授(現慶應義塾大学病 山下

> 脳腫瘍病理学、分業化の進んだ臨床シス 存です。 の更なる発展に貢献すべく、 科医を多く輩出するとともに、金沢大学 米での経験を活かし、次世代の脳神経外 腫瘍摘出術を確立いたしました。今後日 種々の最先端機器を応用した統合的脳 ランスレイショナルリサーチを実践し、 に故濵田潤一郎教授のもとに復職し、ト 教育システムを学びました。平成十九年 して異動しダイナミックな米国の研究・ イショナルゲノミクス研究所に教官と た。平成十七年より同州のトランスレ テムを学ぶ貴重な機会もいただきまし ました。同施設は米国有数の脳神経外科 療機関でもあり最先端の脳外科手術 尽力する所

風いいたします。

私は富山県入善町に生まれ、これまで四年半の米国留学時以外は北陸で教育を受けております。現時点では日本で最も若輩の脳神経外科教授です。至らない点が多いかと思いますが、十全らない点が多いかと思いますが、十全らない点が多いかと思いますが、十全らない点が多いかと思いますが、十全に表での先生方におかれましては引き続きご指導ご鞭撻のほど何卒宜しくお願いいたします。

五六教授、中沼安二教授ご指導のもと肝大きました。臨床では大腸癌の診断・治療に関わってきました。そのなかで陥凹存在を明らかにし、注目されていた秋田存在を明らかにし、注目されていた秋田赤十字病院・工藤進英先生に出会いました。Ⅱcが大腸癌の重要な発育ルートにかかわると認知され、臨床病理が明らかにされていった一九八○年代から現在まで、同じ時に私が大腸癌の研究に携わってこられたのは大変幸運でした。

二〇〇二年に昭和大学横浜市北部病院 消化器センター(工藤進英センター長) 消化器センター(工藤進英センター長) 方術、化学療法までを行っています。お がげさまで大腸癌の内視鏡切除、腹腔鏡 がげさまで大腸癌の内視鏡切除、腹腔鏡 がげさまで大腸癌の内視鏡切除、腹腔鏡 がけさまで大腸癌の内視鏡切除、腹腔鏡 がけさまで大腸癌の内視鏡切除、腹腔鏡 がけさまで大腸癌の内視鏡切除、腹腔鏡 がけさまで大腸癌の内視鏡切除、腹腔鏡 がけさまで大腸癌の内視鏡切除、腹腔鏡 がけさまで大腸癌の内視鏡切除、腹腔鏡 ががさまで大腸癌の内視鏡切除、腹腔鏡 がよりましたが、さらに精進させていただき たく存じます。どうが皆さまのご指導、 たく存じます。どうが皆さまのご指導、

松本 尚博士



村信一教授のご指導により胃の発癌を対信一教授のご指導により胃の発癌を対信一教授のごとが救急・外傷外科医さない手術術式、術後管理を学ばせていただき、このことが救急・外傷外科医として現在に至るまでの大きな礎になどして現在に至るまでの大きなでは経験であました。その後、三輪晃一教授、中りました。その後、三輪晃一教授、中りました。その後、三輪晃一教授、中りました。その後、三輪晃一教授のご指導により胃の発癌を対信一教授のご指導により胃の発癌を対信一教授のご指導により胃の発癌を対信一教授のご指導により胃の発癌を対信に対していたしました。

ました。
ました。
ました。
ました。

平成十二年より日本医科大学に勤務して以降は、蘇生的緊急開胸術+大動脈遮thoracotomyによる一時的出血制御や、clamshell thoracotomyによる胸部外傷治療への挑戦を続けてきました。その結果、他施設を凌駕けてきました。その結果、他施設を凌駕けてきました。その結果、他施設を凌駕けてきました。その結果、他施設を凌駕けてきました。その結果、他施設を凌駕けてきました。その結果、他施設を凌駕が国の救急医療のリーダーシップをとが国の救急医療のリーダーシップをとが国の救急医学教室の教授職に任ぜらり続ける救急医学教室の教授職に任ぜらり続ける救急医学教室の教授職に任ぜられ、その重責を果たすべく、努力を続ける水急を受教室の教授職により、

プラタナスカフェ オープニングセレモニー

され、本同窓会は医学図書館設立の寄付 支援等の充実事業」の一環としても実施 事業は文部科学省「キャリア教育・就労 クッキーなどを販売するものです。この 開かれ、関係者約五十人が開設を祝いま の生徒が運営し、作業実習で手作りした した。カフェは付属特別支援学校高等部 スカフェ」のオープニングセレモニーが 十月七日、医学図書館で、「プラタナ

えたといわれています。まさに「プラタ ものといえるでしょう。 援学校の広報誌や施設にその名称が使わ 葉は落ちますが、果実だけは残ることか ナスカフェ」は医学図書館にふさわしい その昔、この木陰で弟子たちに医学を教 れてきました。また医聖ヒポクラテスも ら、子供の自立への願いをこめて特別支 スズカケノキともいわれ、初冬になると その名の由来となったプラタナスは の一部として資金援助いたしました。

れました

分から午後二時の間オープンしていま カフェは火曜、木曜日の午前十時三十

大井 章史



教授退任記念講演会・記念式のお報せ

生化学第二)) 山 本 さて 金沢大学医薬保健研究域医学系(血管分子生物学研究分野 啓 時下ますます御清栄のこととお慶び申し上げます 博 教授 におかれましては 国立大学法人金沢大学 (旧

謹

理事就任のため平成二十六年三月三十一日をもって医学系教授を退任さ

式を挙行することになりました 存じまして退任記念会を発足させ それに際しまして その御高徳と御功績に対し感謝の意を表したいと 左記のとおり記念講演会並びに記念

演並びに記念式への御臨席を賜りますようお願い申し上げます つきましては 御多用のところ誠に恐縮ですが 記念講演会での御講

謹 白

記

平成二十六年十二月吉日

山本

博

教授

退任記念会

実行委員長

金子

周

記

記念講演会

平成二十七年三月二日(月) 午後四時三十分から

場 日 医学類G棟二階 第四講義室

「思来者 ― 生化学徒としての歩みを顧みて」

演

山本

博

- 記 念

平成二十七年三月二日 月 午後五時四十分から

附属病院 外来診療棟四階 宝ホール

場 日

所

(記念品贈呈、挨拶、 パーティ等)

事務担当 医薬保健系事務部総務課医学総務係

(電話番号 〇七六ー二六五一二一〇〇)

の 二 十

校

図

ツ

教育に定評

があり、

九六年に金沢

大大学

「スーパーグローバル大学創成支援事業 採択校を発表した。 亚 成 一十六年九月二十六日、 文科省 は

学(以上、 業大学、東京医科歯科大学、名古屋大学、 東北大学、 計三十七校が選定された。これらのSG を牽引する大学を対象とする。延べ百九 的試行に挑戦し、わが国のグローバル化 を行うトップ大学を対象とし、タイプB は、タイプAとタイプBに大別され、タ いとされる。 強化に資することを目指す。 大学はこれまでの実績を基にさらに先進 イプA大学は国際ランキングトップ⑩ (superglobal university' 人材を育成して、 の申請 この事業は、向こう十年間に亘る 都工芸繊維大学、 校のうち、 指す力のある、世界レベルの教育研 行することにより、 タイプB大学として二十四校 の中から、タイプA大学として 当面これ以上の大型事業はな 東京外国語大学、 タイプA)、千葉大学、 大阪大学、 筑波大学、 徹底した大学改革と国際化を 岡山大学、 スーパーグローバル大学 国立大学は、北海道大学、 わが国の 奈良先端科学技術大 豊橋科学技術大学、 東京大学、 広島大学、九州大 国際通用性に富む 熊本大学 以下SGU) 長岡科学技 文科省事業 国際競争力 東京工 究

これに対応するGS科

目を開講する。

える、 これを担う組織として国際基幹教育院を 測する、という金沢大学独自 沢大学ブランドの確立」。これを達成す University Global Standard) ルスタンダード=KUGS(Kanazawa 置を知る、(二) 自己を知り、 設置するとともに、(一) 自己の立ち位 るため、五つほどのプランを実現する。 グローバル社会を牽引する人材育成と金 示す。構想名は「徹底した国際化による、 四 その第一 図2に金沢大学のSGU構想の概 世界とつながる、(五)未来を予 (三) 考え・価値観を表現する、 は、共通教育の国際化である。 .のグローバ 自己を鍛 を定め 略

担う Program) サテライト る。 際 て、 タフツ」 スタンフォード、 タ センターを設置する。 Р 育 フツ 第二は、 化 方 (English Learning これ とリ タ 法 0) 大学は、「西 フツ大学E 関 の国際化 と並 有 を中 ベラ 0) 教職員と教 力 一つとし が校で、 立び称さ ル 心 アー にであ 的 東 玉 0 L 0)

> と大学間交流協定を締結した。 フが本学に常駐して金沢大学教職員・学 ある。SGU事業では、タフツ大学スタッ ートナー校は、 一の英語教育に携わる。 わが国では本学のみで 同大学

グロ school)として認定された。 制と高大接続の新しいあり方を追求す 第三に、国際化に対応させた学域学類 本年度、 ーバル高校 (superglobal high 本学の附属高校もスーパー

国ニロスト・ 1.4.... 薬保健学総合研究科は平成十二年度に全薬保健学総合研究科は平成十二年度に全 学教育コースを創設し、 学院教育のほぼすべて、 を英語で行うことを目標 には金沢大学全体として大 日に至っているが、十年 国に先駆けて英語による医 課程教育でも約二分 0 今 後

> 材の育成を通して 進により、 GU事業申請書を、 より研究力の強化も図る。金沢大学は、 異分野融合さらには新学術 くった。 文科省ホームページで公表されているS ではない。第五に、 発展に貢献する。」 SGU事業で力を注ぐの 「金沢大学は今後、 グローバル課題を解決する人 「課題解決立国」日 国際共同研究促進や つぎのように締めく 分野の創出に は、 本事業の推 教育だけ

編集委員 山 本 博 記



図2 金沢大学のSGU構想 構想名:「徹底した国際化による、グローバル社会を牽引 する人材育成と金沢大学ブランドの確立」

東アジアの

東アジアの中核大学へ -キャンパスネットワークと分野融合型特区による 国際教育研究力強化·

- ・サテライト・キャンパス相互設置機想 ・国際共同学位プログラム
- 海外卓越研究者の招聘

IV

学士専門課程教育の国際化と、 地域企業と協働した 国際就業力の向上 全学類・コースに英語プログラム国際インターンシップの充実

> 国際化に対応した 学域学類制の進化と再編。 及び新しい高大接続モデルの構築

学域一括入試の一部導入
 ・国際化に対応した教育組織改編
 ・SGH(附属高校)と連携した高大接続モデル

Ι 国際基幹教育院とKUGSを 両輪とした共通教育の国際化

- ・人間力強化プログラムの導入 ・教授内容の標準化 ・多元的評価指標の確立(質保証)

ングセンターと

タフツ大学ELPによる

教職員と教育方法の国際化 トレ-ニング センタ-での教授スキルの向上全学英語力強化プログラムシラバスの国際標準化

説

文部科学省・課題解決型高度医療人材養成プログラム

北陸認知症プロフェッショナル医養成プラン』

[金沢大学大学院医薬保健学総合研究科 脳老化·神経病態学(神経内科学)教授:

プロジェクトリーダー 山田 正仁

を作成し応募いたしましたところ、採択 知症プロフェッショナル医養成プラン」 私達は金沢大学を中核とした北陸医科系 難治性疾患診断・治療領域」において、 その中の「医師・歯科医師を対象とする 知症に焦点を当てたプログラム「北陸認 四大学の拠点ネットワークを構築して認 識・技能が必要とされる分野の医師養成 長寿社会を実現しようとするものです。 を育成し、課題を解決し健康立国・健康 いた医療が提供できる高度医療専門人材 療現場の課題に対して科学的根拠に基づ 展開することにより、わが国が抱える医 学が核となって教育プログラムを実践・ ムは、高度な教育力・技術力を有する大 グラム」が始まりました。このプログラ いただきました。 人材養成」 業「課題解決型高度医療人材養成プロ 平成二十六年度から文部科学省の新規 の取組の中の「特に高度な知

階である軽度認知障害四百万人(六十五(六十五歳以上の十五%)、認知症の前段(六十五歳以上の十五%)、認知症の前段す。厚生労働省研究班の全国推計(平成す。厚生労働省研究班の全国推計(平成のようなことがあります。一つには、社のようなことがあります。一つには、社のようなことがあります。一つには、社のようなことがあります。

高級以上の十三%)と報告されています。 る認知症地域研究(なかじまプロジェクト)の悉皆調査では、六十五歳以上の約 三十%、八十五歳以上では約七十%が認 三十%、八十五歳以上では約七十%が認 対症あるいは軽度認知障害を有していま で、診療のみならず、介護・福祉等、認知 症対策の母ならず、介護・福祉等、認知 症対策の母い手として活躍できる人材の 症対策の担い手として活躍できる人材の 症対策の担い手として活躍できる人材の 症対策の担い手として活躍できる人材の

識・診療技能、地域において認知症の人 りでは全国平均と同じ○・七名です。す 均で人口十万人あたり専門医○・七名で みますと、全国で八百二十七名、全国平 育成が必要です。 む)を創造する研究力等を備えた医師の 種連携力、未来の認知症医療(予防を含 や家族に対して幅広い支援ができる多職 ます。認知症医療の最先端に位置する知 症プロフェッショナル医が求められてい 高度の認知症診療力を有する、真の認知 常に不足した状況にあります。さらに、 なわち、専門医は北陸を含め全国的に非 の専門医は二十二名で、人口十万人あた す (平成二十六年五月現在)。北陸三県 しょうか?日本認知症学会の専門医数を 次に、認知症の専門医の状況はどうで

> られてきました。 それらはメディアにもしばしば取り上げ シス診療ガイドライン、プリオン病診療 クト、アルツハイマー病J-ADNI研究、 携)、全国規模の認知症臨床研究の拠点 外来)における世界最高水準の認知 かじまプロジェクト)等の実績であり、 症の危険因子・防御因子の探索研究(な カー及び医師主導)],地域における認知 法開発研究[前臨床及び臨床試験(メー ガイドラインなど)、認知症治療・予防 症疾患治療ガイドライン、アミロイドー 認知症関連診療ガイドライン作成(認知 プリオン病サーベイランス研究など)、 (レビー小体型認知症診断研究プロジェ 療と臨床研究(PET研究施設等と連 の実績があります。専門外来(もの忘れ また、金沢大学には認知症診療・研究

が目的で、地域医療機関に勤務する医師 四つです。①の本科コースがメインプロ 種類のコースを設定します。①本科コー 等と連携して実施します。特色のある四 ランは金沢大学を中核として北陸の医科 ました。概要を説明いたしますと、本プ 等が対象です。③のスペシャル研修 る認知症診療で活躍する専門医師の研 インテンシブ研修コースは、地域におけ ざすもので、大学院生が対象です。②の グラムで、高度の知識・技能を有する認 シャル研修コース、④スーパーコースの ス、②インテンシブ研修コース、③スペ 成し、地域医療機関、研究機関、自治体 金沢医科大学)が拠点ネットワークを形 系四大学(金沢大学、富山大学、福井大学、 二十六年度からの五年計画)は採択され こうした背景に基づき本プラン(平成 **|症チーム医療リーダー医師の養成をめ**

スは、認知症・神経難病の臨床病理や、スは、認知症・神経難病の臨床病理や、
こので、
こので、
ののは、
ののので、
のののので、
のののので、
のののので、
のののので、
のののので、
のののので、
のののので、
のののので、
のののので、
ののので、
のので、
ののので、
のので、
のので

プランを「認プロ」とよびます。「認プロ」 様のご指導・ご支援を何卒よろしくお願 デル事業となることが期待されます。十 認知症対策で活躍する専門医師育成のモ 深く、二十一世紀半ばの超高齢化社会の で全国に先駆けて始まることは大変意義 のcommon diseaseである認知症を対象 してまいります。「がん」と並ぶ、屈 のご支援をいただきながら本事業を推進 方々の英知・総力を結集し、国内外から は、北陸医科系四大学の神経内科、 木幹夫・病院長)。それにならって、 ております(統括コーディネーター:並 携による「北陸がんプロ」が先行して走っ する北陸の医科系・看護系五大学等の連 のプログラムとして、金沢大学を中心と れた医療人育成を目標とする文部科学省 全同窓会会員の先生方を始め、 に、本事業が金沢大学のリーダーシップ 症診療に携わる大学関連施設・機関等の ご存じのように、がん医療に関わる優 申し上げます。 高齢医学科の先生方を中心に、認知 、精神 本

病 院 紹 介

国家公務員共済組合連合会 横浜栄共済病院

並んでいます。 陽高校、県警察学校などの公共施設も立ち 公会堂、警察署、消防署、鎌倉女子大、柏 利な立地にあり、そばには区役所、図書館、 新宿駅まで六十分です。このように交通便 横浜駅まで二十七分、東京駅まで五十二分、 を含めて十七分間で到着します。このほか じて見どころのある鎌倉駅までは乗り継ぎ たる桜木町駅までは二十四分間、四季を通 れます。JR本郷台駅からは、学会が頻繁 インターは車で五分程度のところに設置さ れた横浜環状南線(自動車専用道)の公田 が八十一%まで進み一部区間で工事が開始さ 青葉区に至る環状四号線が走り、用地取得 台駅から徒歩七分、すぐそばを金沢区から み) にあります。京浜東北・根岸線の本郷 に開催される "みなとみらい" 玄関口にあ 当院は横浜市南部医療圏(居住者百四万 (十二万五千人、急性期型病院は当院の 病院数三十六)を構成する横浜市栄

りと聞いています。 ほぼ全科に医師の派遣を受けたことが始ま のの、医療の担い手であった海軍医官が離職 国家公務員共済組合連合会傘下に入ったも す。海軍共済病院として創設され敗戦後に 学の関連病院となったのは昭和二十八年で 局的な視点から関東地方に橋頭保を築いた に医局機能が保持されていた金沢大学から したため、県庁所在地ながら空襲を受けず 当院が距離的にはるかに隔たった金沢大 金沢大学においても大

> のうち科長が金沢大学医局関連者であるの から医師派遣をいただいています。 の診療科に所属しています。このほか横浜市 は循環器内科、 七十七名の常勤医師のうち五十名がこれら 大、北里大学、聖マリアンナ医科大学など 、整形外科、眼科、麻酔科の十診療科で、 一般内科、 外科、脳神経外科、胸部外 消化器内科、代謝内分泌内

らの派遣医師が増しています。 に増加しており、近隣病院でも横浜市大か 全科合計の入局者数が二百名を数えるまで 名程度を獲得し、さらに初期臨床研修後の は研修医の都市部集中の波に乗じて毎年百 に医師派遣を行う傾向にありました。しか 市、小田原市、秦野市などの神奈川県西部 少なかったので、在局医師が少ない状況が続 創設からの歴史が短く、また一学年の定員も 受けることが多くなっています。横浜市大は 南部地域の病院は横浜市大から医師派遣を 多く、従来は横浜市全域でも同様でしたが 学などから医師の派遣を受けている病院が 、平成十六年の初期臨床研修医制度以降 東京に近い横浜市の北部地域は、 東京医科歯科大学、東邦大学、昭和大 横浜市内で関連病院網を作らず、藤沢 慶応大

を牽引して行くものとなっています。誠実に 患者さん・家族への接し方、さらに医療スタッ 当院ですが、診療内容は全く劣っておらず、 とになります。大海に浮かぶ小島のような 他流試合を行っているような気分になりま むしろ幾つかの領域では横浜市の医療・医学 ルと比較して確認する機会を容易に得るこ フとの協同性などを関東レベル、 院群に囲まれて診療することは、あたかも 。金沢大学、北陸地方で学んだ知識や技術 多様な大学医局から医師派遣を受ける病 全国レベ

中させて速やかな

ものと思われます。現在でも二十二診療科 業務を行えば、金沢大学で行われている医 を迎えることができました。歴史が長いが故 大学から医師派遣を受け、創設七十五年目 療が高い水準にあることを実感できます。 当院はこのように六十一年間に渡って金沢

共済組合連合会 療ビジョンがあっ とした職員確保 ます。病院収支の の努力を必要とし るためにはかなり

空間、職員に働き のコンセプトは患 階までに到達いた み、本年度中に新 計、実施設計と進 想を練り、基本設 ら新病棟建設の構 リアし、三年前か 来ます。条件をク 年金財源貸付認 から新病棟建設と 揺るぎない地域医 し、関連部門を集 やすい環境を整備 者さんに快適な住 しました。新病棟 病棟を着工する段 可を得ることが出 および国家公務員 て始めて、財務省 安定、医師を中心

> 貢献し、 動線を確保し、低侵襲治療ニーズに対応し 医療の高度化に伴って重症者ケアユニットを になると期待しています。 は必ずや地域医療のステージを変えるもの 医学面を拡充させることです。新病棟建設 充実させ、分娩再開によって周産期医療に た放射線治療設備やロボット手術を導入し、 人間ドックやがん検診などの予防

院長 細川 治 く持っていたのですが、財務省管理下ながら ます。新病棟建設への要望は職員全体が強 に、老朽した病棟、狭隘な病室を有してい



病 院

紹 介

新潟県厚生連 上越総合病院

[はじめに]

ありがとうございます。 沢大学の関連病院にお加えいただき、 床の急性期地域中核病院です。この度は金 (人口約二十万人) の中心部にある、三二八 上越総合病院は、新潟県西南部の上越市 誠に

遣をいただけるものと期待しております。 北陸新幹線が開通し、金沢・上越間が約 遣をいただいております。本年三月には 経外科、整形外科、神経内科などから派 ております。現在、 て収益も右肩上がりに成長、拡大してき は五十五名程度にまで増加し、それに伴っ に新潟大学出身)であったものが現在で 師数は、旧病院時代には十七名程度(主 床以上を増床して新築移転しました。医 速上越インターチェンジ付近)に、一〇〇 上越市中央部の新興商業地帯の一角(高 隘化に伴い、平成十八年(二〇〇六年)に、 五十分でつながることから、今後さらに派 当院は、旧病院(一九九床)の陳旧、 金沢大学からは脳神 狭

に立つことができればと願っております。 可能性もあり、救急や総合医の育成でお役 もご指名いただいていますが、新幹線開通 により関東方面の出身者が当院を希望する 金沢大学の襷掛けの初期臨床研修病院に

とする厚生連病院であります。七十七年 :の昭和十二年に当時の農民たちの運動 上越総合病院は、JA(農協)を母体

> されたことから始まり、 参入しました。その後、佐渡厚生連との すると、農協法に基づきJAグループに によって、医療購買組合病院として設立 合併などを経て、現在、新潟県厚生連は -七の病院を有しております。 戦後JAが発足

ほかに「糸魚川総合病院(二六九床)」、「け 四万六千人、妙高市約三万五千人)には、 を担っております。 においてそれぞれが地域医療における役割 いなん総合病院 (一七〇床)」があり、各市 上越地方(上越市約二十万人、糸魚川市約 の地方に区分されますが、当院が位置する 新潟県は上越、中越、下越、佐渡と四つ

さしい病院、地域に根ざした地域に貢献 精神となります。具体的には、「人にや 念を掲げております。 する病院づくりをめざす」という病院理 することから、協同の理念、助け合いの 当院の基本的な理念は、JAを母体と

【使命(mission)、構想、目標(vision)】

をいただいており、その期待に応えて、地域 時には、市とJAから多額の補助金と出資 める機能を充たしていく使命があります。 に不足する機能を補い、地域(行政)が求 ければならない使命があります。新築移転 急性期病院として、発展、拡大をし続けな 病院として位置づけられており、高密度、 越、糸魚川、けいなん)の基幹病院、センター 当院は上越地方の三つの厚生連病院(上

水準の放射線治療装置二台「専用機:三菱重 学(保健活動)」であります。その後、新築 時に三つの構想、目標(vision)を掲げました。 「救急災害対策」「少子高齢化対策」「予防医 兀篤志家からの多額の寄付により、世界最高 この使命 (mission) を背景に、新築移転 転後五年目に地域の商工会の後ろ盾と地

> clinac iX」を導入したことから、「がん診療 を四つ目の目標(vision)に加えました。 工製・TM-2000」「汎用機:バリアン社製

しずつ功を奏し、医師が増加しています。 陸の孤島と言われていました。 私の構想は少 学から遠く離れ、医師不足に悩み、医療過疎 私が着任した三十年前は、この上越地方は大 院及びDPC病院として変身することです。 の目標もつくりました。それは臨床研修病 新築移転に際して、病院長として私自身

〔診療体制、施設】

者が増加しています。 CU、一○床)を増床し、その後は救急患 地域合同の災害シミュレーションを繰り返 間での数回の地震においては医療救護班を ポート、ドクターカーを整備し、この十年 しています。四年前には集中治療病棟(Ⅰ メディカルコントロールなども頻回に開催 し行っています。また、ICLS、ISLS、 積極的に派遣し、災害訓練においては上越 「救急災害対策」として、新築時にヘリ

設(一○○床)、訪問看護ステーション、居宅 妊治療センターを整備、産婦人科、小児科 齢者福祉事業(通所、訪問介護、小規模多 介護事業者などを整備して、地元JAの高 者病棟(難病など、五○床)、付属の老健施 救急医療、不妊治療などに力を注いでいます。 医を増員、周産期医療、新生児医療、小児 しては、新生児集中治療室(NICU)、不 「少子化対策」(行政の要望が最も強い)と 「高齢化対策」では、透析センター、障害

るニーズに応えて健診センターを増改築 「予防医学(保健活動)」では、急増す 昨年には日本人間ドック学会の認定 多くの最先端のオプション検査を導

大きく貢献しています。

機能ホームなど)と連携して地域の福祉に



ていきたいと考えています。 学の時代と捉え、さらに拡大、 施設となりました。二十一世紀は予防医 発展させ

学からは優秀ながん専門医の派遣をいた 治療の普及を目指していますが、金沢大 低侵襲内視鏡手術や高密度、高精度がん ターを設置しております。外科系では、 を整備し、二十四床の外来化学療法セン だけたらと願っております。 「がん治療」では、放射線治療センター

合診療医の専門医研修プログラム(三年間) で研修しています。また、今年度からは総 由にいけるプログラムで、現在十数名が当院 とコンソーシアムを形成し、どの病院にも自 学の襷掛けの研修も歓迎です。近隣の病院 をスタートする予定です。 「募集六名) の年が多くなっていますが、 大 基幹型初期研修医はこの数年フルマッチ

所存でございますので、今後とも皆様方のご 金沢大学の関連病院として研鑽を重ねる ご支援をよろしくお願い申し上げま 外山

視覚科学

明治十七年 (一八八四年) 六月に山

就任した時に初めて眼科が独立した。 崎兵四郎が石川県甲種医学校眼科長に

たが、昭和二年急逝し、愛知医科大学 三十六年間の長きにわたり眼科学教室 ど教室開講一三○周年となる。本校で 教授を経て第九代教授に就任した。 部卒業の杉山和久が岐阜大学眼科助 平成十四年三月退官した。平成十四年 成十二年四月から病院長を二年務め、 和六十三年六月に教授に昇任した。平 年三月退官した。河崎一夫助教授が昭 に有名で、病院長も勤め、昭和六十三 四十六年七月に教授に昇任した。米村 年十月に教授に昇任した。附属病院 教室を主宰することになり、昭和十七 授に転任したため、助教授倉知與志が は昭和十五年四月に名古屋帝国大学教 島實が眼科学教授に就任した。中島實 副部長山田邦彦が眼科部長に昇任し 歴任し、大正十三年に退官した。眼科 大学専門学校長、金沢医科大学長を を主宰した。高安右人は、金沢医科 後眼科教授として大正十三年までの 年四月から高安病の発見者として後世 独立した診療科となった。明治二十一 は内科、外科につぎ眼科はいちはやく 平成二十六年(二〇一四年)でちょう 三月退官した。助教授米村大蔵が昭和 (名古屋大学医学部の前身) 助教授中 に名を残した高安右人が着任し、以 十二月に、昭和五十九年金沢大学医学 大蔵教授は網膜電図の研究では世界的 医学部長を歴任し、昭和四十六年

室

だ

教室の運営方針

そして、「自分の持つ知識や技術は、すべて後 る「教育の連鎖」こそが、医学教育の真髄で 輩に伝える」という信念のもと、綿々と繋が 良い人材を育てることが、ひいては世界を動 第に入局者が増えつつある。しかしながら、 けていたが、平成二十二年より、教室の方針 医・医員のウンテンのマンツーマン方式で行う。 教育は基本的には助教以上のオーベンと研修 に教育者であることを、全教室員に徹底し、 じて教室運営に取り組んでいる。医師は同時 人で始まって人で終わる」ことを常に肝に銘 医療へと繋がっていくと思う。「教室の盛衰は かす素晴らしい研究、患者さんのための地域 本当に重要なのは入局後の教育である。より を「教育重視」に大きく舵を切ってから、次 平成十六年の医師臨床研修制度の発足以 勤務医不足と入局者の減少に悩まされ続

り

ょ

限らず、生涯にわたる achは後期研修医に このsee、do、te 輩に教える) を基本に える)、二年目はdo ee(先輩から見て覚 三年間は、一年目はS 国のレジデント制でよ 医学教育の基本であ したいと思う。そして、 年目はteach(後 (自分で実践する)、三 門医研修プログラムの く言われるように、専 あると思う。また、米

教室員は仲良く協力 勢は、「一和の精神: 教室運営の基本姿

> 聖な道場で、教室員は互いに切磋琢磨する。三 べて後輩に伝える。」の三つである。 医師は教育者:自分の持つ知識や技術は、 して事にあたる。二.教室は道場:教室は神

外来診療

当するぶどう膜炎外来(月曜日)などがあり 師らの担当する小児眼科・斜視外来(火、木 る角膜外来(月、火、水曜日)、杉山能子医 が担当する眼窩腫瘍・眼形成外来(月、金曜 その他の専門外来として、東出臨床教授、奥 科外来(月、金曜日)、竹本裕子医員らが担 曜日)、大久保臨床准教授が担当する神経眼 日)、小林臨床准教授、横川助教らが担当す 硝子体外来(月、火、水曜日)、高比良講師 田助教、井尻助教、藤村助教が担当する網膜 ポートする体制で行っている(月、水、金曜日) 久保臨床准教授を中心に若手ドクターがサ 緑内障外来は、杉山、東出臨床教授、大

広範な眼疾患をカバーしている。 入院手術

年二〇〇例以上施行している。 また、斜視手術は、関連病院で毎 ること、緊急手術が多いことである。 件だった。当科の特徴としては緑 る硝子体注射が増加しており、硝 変性や網膜静脈閉塞症などに対す 件だった。また、近年、加齢黄斑 植が約五五件、白内障が約四三〇 硝子体手術が約五七〇件、角膜移 訳は緑内障手術が三〇〇件、網膜 術件数は約一、五七○件で、主な内 行っている。二〇一三年一年間の手 内障、角膜、網膜疾患の中でも難 子体注射件数は二〇二三年一、1〇〇 木曜日は三列で、金曜日は二列で 治症例が遠方からも紹介されてく 手術日は火、木、金曜日であり火

る研究 (patient-oriented research)」を 取り組んでいる。緑内障手術治療では生分 ラーメード医療、眼圧日内変動機序解明に る。また、遺伝子解析を応用して緑内障テー 頭出血などの緑内障の病態解明を進めてい 組み合わせて構造と機能の解析を行い、乳 CTによる画像解析と独自の視野検査を 績を報告している。 併用血管新生緑内障治療では優れた治療成 新しい濾過手術を開発中だ。ベバシズマブ 解性極薄フィルム(特許出願中)を用いた 山の専門である緑内障研究では、最新の〇 各研究グループにおいて実践している。杉 杉山の方針である「患者さんに還元でき

問題からヒントを得て」近い将来患者さん る。このほか、神経眼科、 眼形成疾患グループは、最近話題のIgG グループも、「患者さんから生じた疑問点や 4関連疾患のオピニオンリーダーとなってい 良い手術法の開発に努めている。眼腫瘍 数の年間約六○○件の手術をこなし、より となっている。網膜グループは国立大学有 体共焦点顕微鏡で世界のフロントランナー に還元できるテーマで研究を行っている。 角膜グループは、角膜内皮移植手術と生 斜視・小児眼科

おわりに

今後ともご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願 周年祝賀会」を盛大に執り行うことができ い申し上げます。 を金沢で主催する。十全同窓会の先生方には、 内障学会を主催し成功裡に終了した。また、 た。二〇二二年九月二十八~三十日に日本緑 年六月に「金沢大学眼科学教室開講一三○ 山教授就任一○周年祝賀会」、そして二○一四 ||○||五年五月三十、三十||日に日本視野学会 二〇一三年六月に金沢市内のホテルで「杉 (杉山

集学的治療学

張ってきました。 globally」であり、教育・研究・診療に 授のモットーは「Live locally, Grow 並木幹夫教授が着任しました。並木教 男教授の後をうけ、平成七年に三代目 た。初代黒田恭一教授、二代目久住治 泌尿器科学講座として開設されまし 全力で取り組まれ、教室員も同様に頑 昭和三十年、金沢大学医学部

し、「大変理解しやすい」と好評を得て 学院生が北陸がんプロの教科を受講し、 教授のFilm conferenceの他、十名以 BSLは四時間に及ぶこともある並木 多様な泌尿器科疾患を紹介しています。 立てています。 がん診療の向上のための自己学習に役 める北陸がんプロへの参加で、全ての大 並木教授が統括コーディネーターを務 あるからです。最近の特筆すべき成果は、 進歩はないという教室員全員の意識が れは、リサーチマインドなくして診療の の研究のみ学位申請が許されます。そ る研究に励み国際誌に掲載されるレベル 教室員全員が大学院に入学し、後述す 実技実習、泌尿器科疾患別セミナーを 臨床実習、手術見学、腹腔鏡・Robot 上の各分野のエキスパートが外来・病棟 います。また、多くの学外講師を招いて、 授が泌尿器科学講義を一〇回以上担当 教育:医学類教育においては、並木教 分担しています。大学院教育においては、

室

だ

ょ

り

教

領域にこだわらず、複数の領域の研究 尿路性器感染症等ですが、一人一人研究 男性不妊・内分泌、女性泌尿器疾患、 研究:現在の研究領域は尿路性器癌

> 臨床研究が当教室を中心に複数行われてお 精子形成関連遺伝子の研究も大きなテーマ 染色体ゲノム上微小欠失の解析から始まった り、その結果が国際的にも注目されています。 教室員が少ないという現実的理由もさること 待講演を行うなど高い評価を得てきました。 は国際的評価が高く、多くの国際学会で招 で、高前准教授をリーダーとして行った研究 床研究も行っています。男性不妊症患者のY また同様に腎癌治療に関する全国多施設臨 近は前立腺癌治療に関する全国的な多施設 院生がこのテーマで学位を取得しました。最 究は国際的にも高く評価され、多くの大学 行ってきた前立腺癌の再燃に関する基礎的研 室の伝統であり、特に溝上をリーダーとして なくないからです。尿路性器癌の研究は教 ながら、様々な研究に興味を持つ教室員が少 を行っている者も少なくありません。それは、

染が女性の子宮頸 ピローマウイルス感 されており、男性 特許取得後、 臨 の分野の研究におい となっていることを 性の膀胱癌の原因 癌のみならず、男 性器感染症研究グ ています。尿路・ 不妊診断に貢献し 失診断キットは、 評価されています。 て国際的にも高く 発見するなど、こ ループは、ヒトパ たY染色体微小欠 同研究から発展し |床:泌尿器科が 市販

> 柱である手術、放射線療法、薬物療法にお 筆されることは前立腺癌治療で、治療の三本 泌尿器疾患等です。尿路性器癌の治療で特 を自覚し、全ての診療分野にエキスパートを 陸地区の泌尿器科診療の最後の砦であること 担当する診療は幅広く、少人数の教室員で 療装置を有している全国有数の病院となって 療など患者さんの病期に応じて対応できる治 ています。放射線治療もIMRTや小線源治 者が北陸地区のみならず遠方から紹介され Robot支援前立腺全摘を導入し、多くの患 れています。即ち、手術では日本で三番目に いて、それぞれ我が国で有数の病院と評価さ 様、尿路性器癌、男性不妊·内分泌、女性 す。特に力を入れている診療分野は研究と同 配置することにより、その責を果たしていま カバーすることは容易ではありませんが、北 薬物療法では基礎研究や臨床研究

により開始された当院の腎移植診 器科医の入局者があったため、女 患の専門家も北陸地区では少ない 腹圧性尿失禁などの女性泌尿器疾 多くなっています。骨盤臓器脱や ことから、この疾患のガイドライン て加齢男性性腺機能低下症候群と れてきます。最近のトピックとし いため、多くの患者さんが紹介さ の治療は北陸地区に専門家が少な されています。男性不妊・内分泌 れ、治験も含め最新の治療が提供 に裏付けられた理論的治療が行わ んから喜ばれています。 性泌尿器科医による診療は患者さ 介されます。最近三名の女性泌尿 ため、当院に多くの患者さんが紹 いう新しい疾患が注目されてきた 作成委員長の並木教授への紹介が

> は腎臓内科と連携しこの分野の診療の拡大に 療は、当初は実績が少なかったですが、

の心を大切にし、参加者に良い想い出を残し ました。学会の目的は最新学術成果の発表 globally」の精神は教室員に浸透し、地域医 ていただくよう心掛けてきました。 情報交換であることは言うまでもありませ れまで三回開催するなど、様々な形で教室、 訪問者がありました。また、国際学会をこ インドネシア、台湾、米国、ブラジルからの めると韓国、中国、ブルガリア、マレーシア、 学生の受け入れを行い、これまで、短期も含 海外留学を推奨するとともに、積極的に留 員全員が共有しています。海外での学会発表、 きる研究を目指すリサーチマインドを教室 療の中心を担うべく最新最善の医療を提供 んが、教室主催の学会ではいつも「おもてなし」 金沢大学、そして学都金沢をアピールしてき できるよう研鑽するとともに、世界に発信で 並木教授が導入した「Live locally, Grow

準備に追われていますが、大きなイベントを 約七千名の参加者を迎えるため、教室員一同 らの百余りの演題を含め千八百以上の一般演 開催することになっています。 すでに海外か お世話できる喜びも感じています。 を会場に第一○三回日本泌尿器科学会総会を 金沢駅前の石川県立音楽堂と周辺四ホテル 平成二十七年四月十八日から二十一日まで 著名なゲストによるご講演が予定され、

のおかげと感謝の気持ちで一杯です。どうか これからもよろしくお願い申し上げます。 域の皆様ほか、多くの皆様のご厚情、ご支援 同窓会、金沢大学、金沢大学附属病院、 せていただきましたが、教室の発展には十全 以上、泌尿器科学教室の現状をご紹介さ 地



福井支部

支部だより

に於いて開催いたしました。 一定、大学医学部十全同窓会福井県支部が会を坂井地区支部が主宰して福井県あおら市の芦原温泉「グランディア芳泉」が会を坂井地区支部が主宰して福井県あいた。

野先生と魯迅との交流の貴重な資料を、北ました。「藤野厳九郎記念館」では藤統芸能館」と「芦湯」の見学会に参加さに整備された「藤野厳九郎記念館」と「伝を開された「藤野厳九郎記念館」と「伝を開された「藤野厳九郎記念館」と「伝



足湯を楽しんで頂きました。 古を見学して頂き、「芦湯」では三つの「伝統芸能館」では芸妓さんの踊りの稽

一福井県支部長の挨拶がありました。 大地区支部幹事の「開会の辞」と竹内桂 大地区支部幹事の「開会の辞」と竹内桂 大地区支部幹事の「開会の辞」と竹内桂 大地区支部幹事の「開会の辞」と竹内桂

続いて、来賓の中村信一十全同窓会会長より「同窓会が積極的に大学と関わることを希望し、会長はその橋渡しをしたい。」との挨拶がありました。更に大学周辺りプロムナードが完成し、更に大学周辺の遊歩道が整備されたら素晴らしい環境になる。しかし、大学の中身が大切なので国際規格に合ったカリキュラムの導入などによって充実させ、新卒者が入りたいなどによって充実させ、新卒者が入りたいなどによって充実させ、新卒者が入りたい。」との挨拶がありました。

次に講演会に移り、経血管診療学(放計画と予算案が提案され承認されました。の報告があり、協議事項で二十六年度会務務報告並びに支部会員数と会費納入状況

た。発見の難しい膵臓癌の画像診断の方法癌の画像診断」についての講演を賜りまし

射線医学)教授の蒲田敏文先生より「膵

や早期に転移しやすい肝臓転移の見つけ方

く 和やかな雰囲気のもと会話が弾みました。
乾杯の後、越前金津の金龍太鼓が披露され、
の
記念写真を撮つた後、恒例の懇親会が盛大の
記念写真を撮つた後、恒例の懇親会が盛大

して散会となりました。(奥村 良二 記)人先生より挨拶があり、来年の再会を約束 次期開催支部の福井市支部長の森田信

能登支部

> 売いて、累見 ぎこ多り まして、 詳しく教えていただきました。

きました。(常務理事 藤岡 正彦 記)をました。(常務理事 藤岡 正彦 記)を時を楽しく、有意義に過ごさせていただと時を楽しく、有意義に過ごさせていただと時を楽しく、有意義に過ごさせていただと時を楽しく、有意義に過ごさせていただと時を楽しく、有意義に過ごさせていただと時を楽しく、有意義に過ごさせていただと時を楽しく、有意義に過ごさせていただと時を楽しく、有意義に過ごさせていたが、並木先生を囲み、村本信吾支部長の挨拶をいただき、日曜日昼のひから締めの挨拶をいただき、日曜日昼のひから締めの挨拶をいただき、日曜日屋の大学を開かる。



静岡支部

二十六年九月二十七日、浜松市、オークラ爽やかな秋風と残暑が交錯する平成

開発、実践の根底には、病苦に苛まれてい りに話された。革新的な脊椎腫瘍手術の どを交えながら我々会員にユーモアたっぷ れていることを知らされ、会員一同感動し る患者さんを助けたい、何とかしてあげた の心、仁術を、幼少時の母親の教えや留学 教室主宰と病院運営を通して貫かれた医 をされた富田勝郎名誉教授をお招きした。 属病院を牽引し、その発展に多大な尽力 まで八年という長きにわたり金沢大学附 総会が開催された。本部からは、この三月 アクトシティーホテル浜松にて、静岡支部 た一日であった。次に、臼井先生率いる十 いという先生のヒューマニズムが脈々と流 した一九七○年代のアメリカの思い出話な 富田名誉教授は、まず、二十年以上に及ぶ



語り合った。そして、富田先生の掲げる「足 堪能しながら、美酒に酔いしれた。二次会 階で、料理長が腕をふるった季節の和食を 場は、浜松市内を一望できるホテル三十一 う被ばくの問題など質疑があった。その後 妊治療を手掛ける内田先生から検査に伴 ET検診を受けているという松下先生や不 年の再会を誓って散会となった。 長生きし、まずは来年、さらには二〇五〇 腰丈夫でにこにこ百歳」を目標に、元気で ながら、富田先生の偉業や金沢の想い出を た脊椎除去用糸ノコギリの感触を体感し 況報告、金沢時代の思い出など篤い想いが るショートレクチャーを拝聴した。毎年P 口充先生の悪性腫瘍のPET/RI診断に関す は、二階のバーに移り、富田先生が開発し 次々に語られ、会場は熱気に包まれた。会 恒例の、三分間スピーチに入り、会員の現 全記念病院に、今春金沢より赴任した谷

谷口充(昭和六十年)、金田武志(昭和六十一年)、 直之(昭和五十五年)、深澤洋幸(昭和五十六年)、 史(昭和五十年)、岡井高(昭和五十二年)、東茂樹 和四十一年)、松田保秀(昭和四十三年)、土屋和弘 業年)、鈴木幸男(昭和三十一年)、中島康治(昭和 当日の出席者:富田勝郎名誉教授、以下、敬称略(卒 岩瀬敏樹 (昭和六十二年)、内田律子 (平成九年)、 大場範行(昭和五十八年)、加藤裕之(昭和六十年)、 (昭和五十二年)、松下文昭(昭和五十五年)、石神 三十五年)、臼井溢(昭和三十九年)、柿沢紀夫(昭 藤田倫匡 (平成十一年) (昭和四十四年)、佐野勉 (昭和四十四年)、名倉博 記

京 i 支部

崎で十月十八日(土)六時から開催され に支部長が個別に出席勧誘の手紙をお届 ました。昨年から、出席できそうな会員 ホテル・オークラ直営のザ・ガーデン岡 本年も昨年同様、平安神宮近くの京都

> 年卒業の徹先生も親子二代続けての十全 昭和三十五年卒業の松山均先生と平成四 出席いただけませんでしたが、福知山の 卒業試験の真っ最中だそうです。今回は てくださいました。小野田先生の息子さ お返事をいただいた方々の近況報告をし 同窓会員です。うらやましい限りです。 五十八年卒業の小野田秀樹先生が参加し けしているのですが、今年は新たに昭和

乾杯で会を始まると、先輩後輩お構いな し、にぎやかな宴会になりました。 た後、昭和二十九年卒業の中村晋先生の んは、現在金沢大学医学類の六年生で、

お呼びしても恥ずかしくないような盛会 るのは申し訳なく、早く十人を超えて、 ら期待しています。今のままでは、本部 席しますとの力強いお返事もいただき、 になることを願っています。 から中村会長や役員の先生方をお呼びす もっとにぎやかな会になることを、今か 者でしたが、来年は万難を排してでも出 今年は昨年より二名少ない八人の参加

> くいただきました。毎回十全同窓会のお誘 中からお一人の先生の近況を載せさせてい にあとしばらく、お役にたちたいと思いま ない先生のことも大切にする、深い絆でつ 毎年同窓会費を納めてくださっている、出 年金だけの生活の中で、京都市内からは遠 ていただき、失礼な言い方で恐縮ですが 返して、同窓会のことをこんなに深く思っ 調がご不自由な中でもユーモアを忘れず、 懐かしく思います。皆様によろしく。」体 けで食べられます。終戦時入学しました。 病、現在左手足不自由、悪いのは、頭と口 ただきます。昭和二十五年医専卒業の山 依頼のお便りをお送りしましたところ、幾 ない先生方に、会費納入のお礼とご出席の ながら、まだ一度も出席していただいてい す。(できるかな) じました。そのような同窓会になれるよう それが本当の同窓会の精神ではないかと感 ながれていることを感じることができる。 んいいことなのですが、参加していただけ ることに、感動しました。同窓会はたくさ 席できなくても想いを寄せてくださってい く離れて生活しておられるご高齢の先生が ほのぼのとしたこのお便りを何べんも読み 酒とたばこ、旅、車、すべて中止。年金だ いを受けておりますが、十年前に脳出血発 本一郎先生のお返事です。「お便りうれし んの人が参加する盛会になることがもちろ 人かの方からお返事いただきました。その 今年は、毎年会費を納めていていただき 八田

山 形 支 部

ました。十全同窓会の新会長、 が日本海に面する湯の浜温泉で開催され 十月二十五日 (土) 山形県支部の総会 中村先生

岡駅に到着されたご夫妻を修験道で有名 い像にお参りし、国宝の五重塔を拝観し 三十三代崇峻天皇の嫡子です。ありがた 東に月山、北に鳥海山がはっきりと眺望 な出羽三山の一つ、羽黒山神社にご案内 ご夫妻に遠路ご出席いただきました。鶴 にご開帳されていました。蜂子皇子は第 言われる蜂子皇子の木像が百四十年ぶり できました。ちょうど出羽三山の開祖と しました。この日は秋晴れの暖かい日で、 湯の浜温泉に向かいました。

報告をしていただき、和気あいあいと歓談 ました。その後参加者の自己紹介と近況 た金沢大学の発展についてお話をいただき しました。山形県支部の第一回総会に金沢 最近の医学部、今春まで学長を勤められ 今回の参加者は七名で、中村会長から



覚えておられ、その話題に花が咲きました。 遅くまで楽しい話題で盛り上がりました。 中村会長は二次会にも参加していただき り、中村会長も同じ細菌学の師の話でよく 同じ昭和二十年卒業で仲が良かった話にな で、酒田市に開業していた本間誠先生と 大学から来ていただいたのは西田尚紀教授

池田利史、昭和六十一年卒業 石橋正道、平成九 昭和四十七年卒業 森谷直樹、昭和五十年卒業 年卒業 中島良明、昭和四十六年卒業 石原融、 参加者は、昭和三十四年卒業 真田稔、昭和三十九 りしました。ありがとうございました。 でご夫妻を送り、石原先生と私でお見送 ありました。びっくりでした。鶴岡駅ま しゃり、探してみたら廟の外すぐ近くに 会長が近くに楷の樹があるはずだとおっ ました。その中に孔子廟があり、中村 すぐ近くの庄内藩藩校の致道館も見学し 翌朝は朝食の後鶴岡市に戻り、旧鶴が 城内にある藤沢修平記念館を見学し、 直樹

畄 山支部

平成二十六年度金沢大学十全同窓会

成九年卒業 杉本太郎先生、平成十一年 部長)、平成九年卒業 高木徹先生、平 先生、平成八年卒業 浅海浩二 (岡山支 行っているフレッシュな三名の参加もあ り、とてもうれしく思いました。参加者 を卒業し岡山大学病院にて初期研修を 懐かしい先生方に加えて、今年金沢大学 開催させていただいております。今回は ク岡山において盛大に開催されました。 岡山支部会が十二月六日 (土)、メルパル は卒業年度順に平成元年卒業 住井賢吾 岡山支部では毎年この時期に同窓会を 西川敏雄先生、平成十二年卒業

> 梅原憲史先生、平成十二年卒業 門田弘

かしい話で盛り上がり、あっという間に 時間が過ぎていきました。 ら、学生時代に戻ったように金沢での懐 美味しいお酒と料理をいただきなが

て、会を終了させていただきました。 今回も幹事の杉山先生に大変お世話にな また来年もお会いできることを約束し

> の繋がりを深めてまいりたいと思います。 沢から遠く離れた岡山での金沢大学出身者 年度も早めに声をかけて参加者を増やし金 り無事に会を終えることができました。来

(浅海 記



十全三一会

閣で行われた。

日(祝)、富山県魚津市金太郎温泉光風

平成二十六年一〇月十二日 (日) 十三

(昭和三十一年卒業同級会)

をかねて行われた。

勝野芳人君、鈴木幸男君の叙勲祝賀会

平成 26年 10月 13日

拓也先生の十四名でした。 卒業 石川和也先生、平成二十六年卒業 平成十三年卒業 徳毛誠樹先生、平成 明先生、平成十二年卒業 横溝智先生、 山博太郎先生、平成二十六年卒業 十三年卒業 杉山成史先生、平成十九年 金平典之先生、平成二十六年卒業

(悌)、宮下。 ・ 出席者は次の諸君です。 ・ 出席者は次の諸君です。

田中悌夫 小林好文) て散会した。(当番県 富山県 幹事に、富山市役所展望台、富山城を見学しに、富山市役所展望台、富山城を見学し

追記 十全三一会の足跡は古く昭和三十二 年よりはじまり出身県別に開催してきた が、高齢になったためか、最近は継続があ がぶまれるようになった。しかし、母校の をぶまれるようになった。しかし、母校の ある石川県の朝倉君が金沢周辺で三年間 かいことが、高齢になったためか、最近は継続があ が、高齢になったためか、最近は継続があ が、高齢になったためか、最近は継続があ が、高齢になったためか、最近は継続があ が、高齢になったためか、最近は継続があ が、高齢になったためか、最近は継続があ が、高齢になったためか、最近は継続があ が、高齢になったためか、最近は継続があ が、高齢になった。 というで、日本の当番県 は長野県となり高野君と宮下君にお願い は長野県となり高野君と宮下君にお願い は長野県となり高野君と宮下君にお願い は長野県となり高野君と宮下君にお願い

三二二会 (昭和三十二年卒業)

八十二名の同級生も生存者が五十二名八十二名の同級生も生存者が五十二名になりました。毎年訃報が入るのは淋しいになりました。毎年計報が入るのは淋しいになりました。其の介助役の奥様が急方が増えました。其の介助役の奥様が急逝されてしまい、お嬢さんを同伴して来られる方もいます。しかし、もう現役は少なく、仕事と重なることは少なくなりました。これまで北陸三県の他、京都、東北、市高等でクラス会をしていましたが、これからは人数の多い金沢市に落ち着きそうです。しかし、石川県在住でも出席可うです。しかし、石川県在住でも出席可うです。しかし、石川県在住でも出席可りです。しかし、石川県在住でも出席可りです。しかし、石川県在住でも出席可りです。しかし、石川県在住でも出席可りです。しかし、石川県在住でも出席可りです。しかし、石川県在住でも出席可りです。しかし、石川県在住でも出席可りです。

に金沢市駅前、ホテル日航金沢3階の今回は平成二十六年十月十八日土曜日



会話も大変な事もありました。会話も大変な事もありました。活題は現代の経済、政治、医療をした。話題は現代の経済、政治、医療を語る熱血漢もいましたが、所詮、一番大いなのは健康ですから病気の話になってしまいました。しかも難聴の方も増えてしまいました。しかも難聴の方も増えている。

二次会は同ホテル3階のラ・ソラに殆話も大変な事もありました。

ら歓談しました。
と全員が集まり、金沢の夜景を眺めなが

館などに行った人もいました。ぶりの兼六園や金沢城、二十一世紀美術翌日の観光は全くなしでしたが、久し

多数出席して下さい。名ほどであまり変化ない様ですが、是非ス会になりますが、利用しそうなのは三の予定で、新幹線開通後の金沢でのクラのではで、新幹線開通後の金沢でのクラのでは平成二十七年十月十七日土曜日

三六会 (昭和三十六年卒業)

が開かれました。 金沢の料亭旅館「浅田屋」で三六同窓会 平成二十六年十一月二十三日(日)、

で開催となりました。

で開催となりました。

で開催となりました。

で開催することになり、一昨年は富山、た際、今後は北陸三県の持ち回りで、毎た際、今後は北陸三県の持ち回りで、毎に開催することになり、一昨年は富山、毎年は高井で開催していた。

に高御膳が定番ですが、最近、家内共々、出席は奥様同伴六組を交えて二十名で、 対は者が続き、黙祷が行われてきましたが、 今年は幸いにもなしとのことで、まず最初に、 クラス幹事代表の大家君の軽妙洒脱な開会 だ形があり、続いて、最遠方から参加したが、 中川君(埼玉県)の乾杯で開宴となりました。 金沢の料亭での宴会は、畳敷きの広間 金沢の料亭での宴会は、畳敷きの広間

に参加していないのが残念至極でした。



二八会(昭和三十八年卒業)

より、出雲の国では十月を神在月(かみ テル一畑へ二十三名(総勢三十四名)の 二十六年は西の遠隔地の出雲で開催する 地区(京都)で開催するパターンで経過 仙市、西は島根・出雲市に広がり同窓会 擬えることができましょうか? 会も出雲での同窓会に参集された神様に ありつき)と呼んでいますが、わが三八 会議のためにご参集されるとの言い伝え 月と言いまして全国の神々が出雲大社に ますが、交通の便の悪い中、松江市のホ 整え今回の開催に至ったわけであります。 ませんでしたが、数年前の同窓会で平成 で行われて以来、遠隔地での開催はあり 古屋で、再び金沢に帰ると次の年は関西 金沢で開催すると次の年は関東地区や名 も年中行事として毎年行われてきました。 三八会のメンバーは東(北)は秋田・大 を松江市のホテル一畑で開催しました。 卒業後五十一周年記念同窓会・出雲大会 ようにとの要請を受け、年初より準備を してきました。平成十九年秋田県大仙市 沖縄出身の同級生、宮城文男氏亡き後、 .級生が集いました。一般に十月は神無 一級生の中で私は最も西の出身者となり 平成二十六年十月四日(土) 三八会

したが、出席簿順に順次近況報告をいただ を工十一名の同朋に対する献花式が行われき二十一名の同朋に対する献花式が行われき二十一名の同朋に対する献花式が行われき二十一名の同朋に対する献花式が行われましたが、その後も新たに四名の同朋(長井良彦様、立岩孝様、岡島武彦様、林幸 井良彦様、立岩孝様、岡島武彦様、林幸 がました。最も遠来の寺邑能実氏に開会の接 があいこれが、出席簿順に順次近況報告をいただ 前回の五十周年記念総会に際しては亡 したが、出席簿順に順次近況報告をいただ

り決めていただくことになりました。ついては石川、富山在住の有志の方々で取告があり、次回の同窓会および会計幹事にきました。途中、中西功夫氏より会計報

切りに小泉八雲旧居・記念館、武家屋敷 参拝できました。結婚式の終わったお二方 り行われており、夕刻出雲大社に到着し 権宮司の千家国麿氏のご婚礼が午前に執 刻にかけて出雲大社に向いました。当日 ました。午後は松江城を取り巻く堀を船 を見学した後、地ビール館で昼食をとり ものと感じる時世となったようでありま 喜んで頂きました。今なお現役で医療業 造温泉・ホテル玉泉に到着いたしました。 る光景が見られました。夜には二泊目の玉 ている所を多くの人々が取り囲んで見送 が、社務所より松江に出立されようとし た時には既に終了したあとで、支障なく は折りしも高円宮家の典子様と出雲大社 でめぐる堀川遊覧を楽しんでいただき、夕 す。翌十月五日は松江城天守閣見学を皮 ぎても出席者一同健康な余生を送りたい 務に従事されている方もあり、喜寿を過 技の披露が行われ、 存会のメンバーの方々による安来節の謡と 「ドジョウ掬い踊り」および「銭太鼓」演 アトラクションとして当地の安来節保 出席者の皆様に大変

ジャポンで最高評価の「三ツ星」に選出ジャポンで最高評価の「三ツ星」に選出ジャポンで最高評価の「三ツ星」に選出

しい景観を鑑賞いただきました。
されただけの値打ちのある庭で、すばら

降る程度で、会の進行に支障はありませ
おの "しじみ" や出雲そばを、安来では
はていったようですが、幸いにして当地は
けていったようですが、幸いにして当地は
だきました。また期間中は台風十八号が
だきました。また期間中は台風十八号が
だきました。また期間中は台風十八号が
にして当地は
がきました。また期間中には当地の名産である宍道



ご同伴の方もおられました。受付では奥

東、近畿地区より三十二名が集り、奥様

田氏ら幹事の間で「ええつ」、「おおう」、

「誰?」など感嘆詞が飛び交っていまし

たが、久しぶりの方は顔と名前を一致さ

(倉塚 均記

四四会(シシの会)

十一月二日(日)、ホテル日航金沢にて十一月二日(日)、ホテル日航金沢にている第六回の同窓会が行われました。日時はみなが集まりやすい連体の中日とし、予定を立てやすいよう早めにご案内をしました。前回は、五年前に行っているので、さすがに連絡できない方もなく、ようやくこぎつけたと思った矢先、木村氏の計報が入りました。また体調がすぐれずやむをえず欠席の方が二名おられました。

会が幕開けとなりました。最初の懇談もそこそこに六時に記念撮影が始まり、和やかに、時には緊張して影が始まり、和やかに、時には緊張していいの懇談もそこそこに六時に記念撮

代表幹事の挨拶のあと、司会進行は富

田氏によって始まり、まず物故者九名に黙とうをささげて、その後山崎氏の乾杯のとうをささげて、その後山崎氏の乾杯のとうをささげて、その後山崎氏の乾杯のとうをささげて、その後山崎氏の乾杯のとうをささげて、その後山崎氏の乾杯のまい起こしまた話が弾むのでした。長く脚れていた年月が一気に埋められて、学生時代そのものがよみがえったようでした。また会に先立って午前中にゴルフコンまた会に先立って午前中にゴルフコンまた会に先立って午前中にゴルフコンまた会に先立って午前中にゴルフコンをがリンクスにて北中氏のお世話に表した。

勤めあげ、家庭的にも落ち着いた様子が報告が始まりました。それぞれに仕事を会も盛り上がったところで各自の近況



はない人となる楽しさがありました。 のこうスメートに戻ってしまい、気の置時にクラスメートに戻ってしまい、気の置時にクラスメートに戻ってしまい、気の置いない人となる楽しさがありました。

夜がふけたのも気にならず、別れるに忍び難く、二次会に臨んだのですが、それでも名残惜しく別れがたい夜でした。代表幹事の私が勝手に指名した金沢近辺の幹事の皆様、縁の下の力持ち撮影係りの荻野氏、盛り上げてくださった同級生の皆様に心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

同窓生の消息

化泵 结合和四十二甲防衛医科大学校名誉教授立一一文学堂

北原哲(昭和四十二年卒業)

第四回立川文学賞は平成二十二年に東京立川こぶしロータリークラブが提唱立川こぶしロータリークラブが提唱員会が主催しています。選考委員は固体が後援をして立川文学賞実行委直木賞作家の志茂田景樹氏です。直木賞作家の志茂田景樹氏です。直木賞作家の志茂田景樹氏です。「実施され、全国三十四都道府県より二三一作品が集まりました。賞金り二三一作品が集まりました。賞金と四点の佳作が一冊の本として平は大賞三十万円、佳作が五万円。大は大賞三十万円、佳作が五万円。大は大賞三十万円、佳作が五万円。大り二三十六年六月に出版されました。

平成二十四年「じろう」木山省二(きやませいじ)略歴

木山省二「重四朗始末」

第八回銀華文学賞佳作 平成二十六年「水の中の笑い声」 第十回銀華文学賞奨励賞 文芸思潮五五号 アジア文化社 平成二十六年「重四朗始末」 平成二十六年「重四朗始末」 平成二十六年「重四朗始末」

(木山省二 = 北原 哲 記) 雲社(平成二十六年)がある。 工古田文学八六 星

窪田 昭男 (昭和五十年卒業) 学術集会報告 日本小児放射線学会第五十回

平成二十六年六月二十七日・二十八日

世紀にわたる歴史を振り返っていただき 科余田篤先生本学昭和五十一年卒業余 れるか?―(基調講演:大阪医大小児 の超音波診断 ―超音波はCTを超えら 領域を取り上げました。(一) 急性腹症 通して最近の発展が目覚ましい以下の六 ました。シンポジウムでは、画像診断を Pandora's Box〟と題してお話し戴き 科大学昭和四十八年卒業)に急性腹症 線科教授のYutaka Sato先生(日本医 ました。もう一題は、アイオワ大学放射 小児放射線医学五十年の歴史」と題し 授、本学昭和三十七年卒業)に「日本の 先生 (元東邦大学大橋病院放射線科教 日本小児放射線学会理事長の平松慶博 特別講演を二題用意しました。一題は元 ムを企画いたしました。テーマに因んだ 知新」として、趣向を凝らしたプログラ あったことより、メインテーマを「温故 が、今回は、五十周年の記念学術集会で 会は玉石混交の症例報告が中心でした いたしました。従来の本学会の学術集 回日本小児放射線学会学術集会を開催 の両日、 Neuroradiology ―最近の進歩― 田洋右君の弟)、(二) 新生児・乳児の *Acute Abdomen: When to Open the の画像診断をパンドラの箱にたとえて、 て、わが国における小児放射線医学の半 神戸国際会議場において第五十 同

spotや

学術集会

業)、(四) 先天性嚢胞性肺疾患の新しい 生)、(三) 小児核医学検査―こんな時 題となっているCTによる被曝の問題と 影室での画像カンファレンスを再現しま 日米の放射線科医と小児外科医による読 Radiology in Action 2014、と称して、 調講演と、公募、一部指定したシンポジ 先生)で、それぞれのExpertによる基 最先端(同:大阪大学皮膚科大須賀慶悟 診療センター長左合治彦先生)および 国立成育医療研究センター周産期・母性 胎児画像診断 ―今とこれから― 部長西島栄治先生)、(五) 先天性疾患の 概念と画像診断(同:高槻病院小児外科 科教授小泉潔先生、本学昭和五十一年卒 ©Film Reading Session♣` Pediatric ストによる徹底討論を致しました。従来 (六) 血管腫・血管奇形に対するIVR ソウル大学放射線科教授 In-One Kim先 した。ランチョンセミナーでは、 にこんな検査を― RI検査時の鎮静のガイドラインに (同:東京医大放射線 今、話 。 同 ..

日本小児放射線学会 ついて

示説と 医でも は全て 般演題 話して やすく わかり いただ きまし

> 高い評価を戴きました グラムも熱い熱気に包まれ、 熱い討論をして戴きました。 何れのプロ 参加者から

> > 医

師 会 コ I

と思った次第です(笑)。 どこかの核医学の教授になっていたかな PETが核医学診療において、なくては 歩を、金沢大学の核医学教室に一年遅く 生を紹介します」と書いてくれたのを読 と言うものでしたが、ますます核医学に 強い薦めもあって核医学に進みました 学を五十年に卒業後、核医学教室におら ました。もう少し、辛抱していたら私も ならないものになったのを目の当りにし がありました。SPECTが実用化され、 話しして戴いたのも誠に感謝深いもの 入局した小泉潔先生に基調講演をしてお れ以来ずっと気になっていた核医学の進 のも感慨深いものがあります。また、あ 主催学会の会長が小児放射線学会という 会員を続けておりましたが、最後の単独 ていたのでしょうか、小児放射線学会の した。心のどこかで放射線に未練が残っ て、卒業後三年目に小児外科に転科しま んで、転科という手があることに気付い だ、小児外科に興味があるなら、好い先 を迎えました。鈴木豊先生が年賀状に「ま 違和感を感じ悶々としつつ二回目の正月 が実用化されれば核医学に未来はある」 未来はあるか?」でした。結論は「SPECT ポジウムが、驚くべきことに「核医学に から、入局一年目の日本核医学会のシン いた私は違和感を覚えておりました。折 が、当初より臨床医になることを考えて 大学核医学科教授、昭和四十年卒業)の れた山岳部の先輩、鈴木豊先生(元東海 に感慨深いものがありました。私は、本 この学術集会は私個人的にとって非

ている。現在、

第四十五回全国学校保健 学校医大会in金沢の報告

され、今年で四十五回を迎える歴史と伝 野は時代とともに次々と新しい課題が生じ る~」をテーマに開催した。学校保健の分 来のために~学校医の新たなる役割を考え 方々、二十一名が表彰の栄に浴された。 わたり学校保健の向上発展にご尽力され 統のある大会である。この時に、長年に した。この大会は日本医師会主催で開催 の学校医の先生方が出席され盛会に終了 沢で開催された。全国から六百四十八名 四十五回全国学校保健・学校医大会が金 田邦彦先生 (藤田内科医院) が表彰された。 力し金沢市学校保健会会長を歴任した藤 本県の代表として、永年学校医として尽 た学校医、養護教員、学校関係栄養士の 第四十五回大会は「子供たちの明るい未 平成二十六年十一月八日(土)、

県からの六題 に迫られてき 健康課題が生 社会環境や生 ている。石川 じ、その対応 習慣病、感染 により、生活 活環境の変化 り巻く急激な グなど様々な 害、危険ドラッ 疾患、摂食障 症、アレルギー 子供たちを取

> が一堂に会しての研究発表は、大変有意義など ら学校医、並びに学校保健関係者の先生方 充実した内容であった。 を含む六十一演題の発表があったが、全国か

り」、北岡克彦先生(木島病院)の「学校で 科勤務医が学校医に任命されるまでの道の 県立中央病院)の基調講演「学校保健の動 議論を深めた。 保健関係者としての新たなる役割についての 討論が行われ、 「学校における食育の推進」の発表で活発な 起こるスポーツ障害とその予防」、および栄 青山航也先生(市立輪島病院)の「産婦人 による「効果的な喫煙防止教育の進め方」、 向と課題」の後、森田正人先生(森田医院) 医師会学校医担当理事の久保実先生(石川 ポーツ障害、食育の問題を取り上げた。県 養教諭北出宏予先生(押水中学校)による 校保健」をテーマとして、禁煙、性教育、ス シンポジウムは、「保健教育を活かした学 学校医をはじめとする学校

特別講演は、郷土料理研究家であり、 画「武士の献立」の料理を監修した、 蒸し、かぶら寿司など、改めて石川の いてご講演をいただいた。治部煮、蓮 青木クッキングスクール校長の青木悦 食文化の奥深さに感心した。 子先生に「加賀百万石の食文化」につ

重さを再認識させられた。 さんの横笛をご披露して大変喜ばれた。 るために、我々に課せられた責任の 供たちが心身ともに健やかに成長す 城公園の五十間長屋において藤舎真衣 ただき、また、会長招宴として、金沢 酒と金沢市の伝統芸能と共にご堪能い 懇親会では、加賀料理を美味しい地 今回の大会では、明日を託する子

近藤

邦夫

記



学生課外活動支援報告

西日本医科学生総合体育大会

第六十六回西日本医科学生総合体育大会は、主幹北陸ブロック、代表主管校金会は、主幹北陸ブロック、代表主管校金ら十八日の十八日間わたって開催されました。約五十年ぶりの金沢大学主管ということで二年以上前から準備が行われました。運営委員会の発足から会場の確保、世事会の開催と主管校の役割は多く、慣れない仕事に苦労する運営委員もいましたが、大会期間は台風の影響による悪天候で日程の変更など対応に追われる競技もありましたが、大会期間は台風の影響による悪天候で日程の変更など対応に追われる競技もありましたが、大会期間な台風の影響による悪天候で日程の変更など対応に追われる競技もありましたが、大会期間な台風の影響による悪天候で日程の変更など対応に追われる競技もありましたが、大会期間な台風の影響による悪天候で日程の変更など対応に追われる競技もありました。

一分大会における金沢大学の成績は、参小大会における金沢大学の成績は、参加大学四十四校中第十一位と昨年の第

生管を務める競技が多く、大会運営できたのも、日ごろから練習を怠らずできたのも、日ごろから練習を怠らず行ってきた成果であり、またこのような私たちの活動をご理解いただき、ご支援を下さる十全同窓会の皆様、〇Bの先生を下さる十全同窓会の皆様、〇Bの先生がある中で限られた時間ではありますがある中で限られた時間ではありますが、密度の濃い練習を行い、学業と課外が、密度の濃い練習を行い、学業と課外が、密度の濃い練習を行い、学業と課外が、密度の濃い練習を行い、学業と課外が、密度の濃い練習を行い、学業と課外が、密度の濃い練習を行い、学業と課外が、密度の濃い練習を行い、学業と課外が、密度の濃い練習を行い、学業と関を表述を表述を表述していまたである。

関係各位に厚くお礼申し上げます。
関係各位に厚くお礼申し上げます。
の大たちのとなめて感じることとなりました。このを改めて感じることとなりました。このを改めて感じることとなりました。このをがめて感じることとなりました。

ご支援のほどよろしくお願いします。よう努力して参ります。今後とも更なるあり、大阪の地でより良い成績を残せる来年度は大阪市立大学が代表主管校で

各部の主な成績

剣道 男子ベスト8 男子ベスト8

女子ベスト8 女子ベスト8

医学類四年 玉腰 裕規 記)

白山診療班

白山は石川県と岐阜県にまたがる標高白山は石川県と岐阜県にまたがる標高の上で、富士山、立山と並ぶの、夏山シーズンには多くの登山客が訪り、夏山シーズンには多くの登山客が訪り、夏山シーズンには多くの登山客が訪がある室堂に五十年以上にわたり診療地である室堂に五十年以上にわたり診療所を開き、登山客や室堂スタッフの健康を守っています。

覚えます。特に頂上の御前峰から御来光む得られない貴重な体験です。数時間のは得られない貴重な体験です。数時間のは得られない貴重な体験です。数時間のは得られない貴重な体験です。数時間のは得られない貴重な体験です。数時間の

視野を広げる機会にもなります。
視野を広げる機会にもなります。
に動かた時の感動は今も私の記憶に残っての機会となります。人生の先輩であるで見たり、患者さんと接したりする初めで見たり、患者さんと接したりする初めで見たり、患者さんと接したりする初めで見たり、患者さんと接したりする初めで見たり、患者さんと接したりする初めで見たり、患者さんと接したりする初めで見たり、患者さんと接したります。

自然の厳しさに直面したり、患者さんへに新たな発見や、学びがあります。時に活動に参加する学生もいます。参加の度います。中にはシーズン中に二度三度に新たな発見や、学生があります。の度しています。中にはシーズン中に二度三度の登山で白山の大自然、診療所の一度の登山で白山の大自然、診療所の



す。

で対応に反省をしたりすることもありま

なと、少しずつですが出来ることも増え

なと、少しずつですが出来ることも増え

す。学年を上がるごとに新しい知識を得

の対応に反省をしたりすることもありま

できるようにしたいです。 るよう、できる限り全日程で学生が駐在 のスタッフや白山奥宮の方々が診療班の がっておられたということがあり、室堂 のことを室堂のスタッフに伝えると残念 ばらく学生が不在になったのですが、そ 加して頂きました。特に登山客の多い週 百十二名の患者さんの診察を行いまし 月三十一日までの四十三日間にわたり、 た。今後は室堂の皆様の期待に応えられ 活動に期待されていることを感じまし しまいました。私が診療所を離れた後し などにより学生不在の期間が数日できて めましたが、スケジュールの都合や台風 学生は期間中全日程で駐在できるよう努 末に参加して頂き有難うございました。 た。本年度も多数の先生に診療活動に参 平成二十六年度は七月二十日から八

末尾ながら十全同窓会の皆様には白山末尾ながら十全同窓会の皆様には白山

(白山診療班代表

医学類四年 田中 弘之 記



自山診療班顧問 山口 成良夏山登山を再度お願いする白山診療班OB(正会員)に

私は今年(平成二十六年)満 八十五歳になりましたが、今年の夏 八十五歳になりましたが、今年の夏 には例年のごとく白山に登り、室堂 には例年のごとく白山に登り、室堂 に医学部学生三名と白山診療所で診療活動 に医学部学生三名ともに従事しました。 吐気と頭痛を訴えて来られた類高山 吐気と頭痛を訴えて来られた類高山 吐気と頭痛を訴えて来られた類高山 などを診察して、一泊二日の診療活 などを診察して、一泊二日の診療活

室に接して寝室もあります。夕食 きない休診日となっています。以 が少ないので学生だけとなり、 切にお願い申し上げます。 者さんを診ていただくことを再 おいしく、缶ビールも1本つけ は以前と違って小奇麗で、診察 がかりです。室堂内の自山診療 は毎日診療していたのに比べて 一がきめられた常備薬しか投与で ておらず、あとは先生方の登山 おむね土・日・月位しか毎週開 残念なのは、七・八月の診療所は のOBの先生が夏山に登山され れます。どうか多くの白山診療 学生とともに一人でも多くの 学

(松原病院 山口 成良 記)

立山診療班

魅了する、富山県最大の観光地です。 魅了する、富山県最大の観光地です。 雄々しい山々の壮大な景色が訪れる者を は、澄み切った青空や咲き誇る高山植物、 北アルプス北部に位置する立山連邦

という結果となりました。運営につきま

けてみれば患者数は昨年度よりも増加いだろうと予想していましたが、蓋を開登山ブームとはいえ、登山客は多くはな

のできる大変貴重な場となっています。

本年度は天候の悪い日が多く、近頃の

いずれかの診療所に医師がいる環境の確しては、今年度も登山客の多い土日には

(昭和二十七年卒業)

り、生の臨床現場を体験したりすることり、生の臨床現場を体験したりすることを行うという体制をとっていますが、学を行うという体制をとっていますが、学を行うという体制をとっていますが、学生にとっては実際に患者さんと接したを行うという体制をとっていますが、学生は医師の制力のもと、診療所では診療活動自体は医師が行い、学生は医師の療活動自体は医師が行い、学生は医師の療活動自体は医師が行い、学生は医師のを行うという体制をとっていますが、学生にとっては実際に患者さんと接したり、生の臨床現場を体験したりすること



トにて「立山診療班」と検索願います)。 最後になりましたが、〇B・〇Gの先生方をはじめ、活動を支援してくださっ 生方をはじめ、活動を支援してくださっ まして、本年度の活動も無事に終えるこ とができました。厚く御礼申し上げます。

医学類五年 岩本 隼輔 記

A C L S 金 沢

ACLS (Advanced Cardiovascular ACLS (Advanced Cardiovascular Life Support) 金沢は、BLS (一次救命処置) とACLS (二次救命処置) を中心とした救急蘇生法についての知識や技術を習得するために、学生同士で勉強技術を習得するために、学生同士で勉強するを行っています。BLSである心肺蘇生・AEDを用いた除細動・窒息に対する遺物除去などの基本的な技術から、気

ショップ(WS)に参加しています。を用いたACLSまで幅広く学んでいます。講義だけでなく、実際に治療に用いる機材を使っての手技練習をするので、より臨床に近い体験ができます。全国の多くの医学部にACLS部(サークル)があり、それぞれの大学が開くワークがあり、それぞれの大学が開くワークがあり、それぞれの大学が開くワークル)を開いた。

WSを通じて私たちは多くのことを学んのサークルの最大の魅力の一つだと感じてのサークルの最大の魅力の一つだと感じてのサークルの最大の魅力の一つだと感じてのサークルの最大の魅力の一つだと感じてのサークルの最大の魅力の一つだと感じていますが、それは医学的な内容に留まりたがり、参加者の連帯感を高めるためのアイスブレーキングを工夫したり、より効果的に記憶を定着させるためのレクチャーを考えたりしています。パワーポイントに使うえたりした、普段の授業では学べないスキルをうした、普段の授業では学べないスキルをうした、普段の授業では学べないスキルをうした、普段の授業では学べないスキルをうした、普段の授業では多くのことを学んのサークルの最大の魅力の一つだと感じてのサークルの最大の魅力の一つだと感じてのサークルの最大の魅力の一つだと感じてのサークルの最大の魅力の一つだと感じている。

頂くことも重要と考え、ホームページをます。また診療所の活動を世間に知って半分ででも参加して頂けたら幸いに思い

覧いただければ幸いです(インターネッ作成しましたので、そちらも是非一度ご

会報をご覧になっている診療班OBの皆も医師が足りていない現状です。今この保はなんとか達成できましたが、それで

様、学生の頃を思い出しつつ避暑目的が



財産になると思っています。 ます。そして、なによりそれ自体が大きな とは、日々の学習の意欲を高めさせてくれ ついて熱く語り合える仲間がいるというこ きっかけではありますが、こうして医学に なったことまで多岐にわたります。WSが のことはもちろん、各大学の授業中に気に 沢大学、金沢医科大学、富山大学、福井 合っています。その内容は、WSについて て議論、発表、実践をして、互いに刺激し ル)が定期的に集まり、様々なことについ 大学の北陸四大学のACLS部(サーク 去年から続いている北陸勉強会では、金

思っています。 なものとするきっかけになってくれればと れからのACLS金沢の活動をより活発 の雰囲気の一部を感じてもらいました。こ く一年生と三年生に参加してもらい、WS BLSWSが開催され、金沢大学からも新し 六月には福井大学で北陸四大学合同の

生科そして十全同窓会の先生方に厚く御 を支えてくださっている救急部、麻酔科蘇 ださる〇B・〇Gの先生方や私たちの活動 礼申し上げます。 最後になりましたが、ご指導、ご協力く

(医学類三年 過外 真隆 記

Live Aid Kanazawa

次救命処置(BLS)を一般市民の方々 なところで大人、小児、乳児に対する一 に無償で出張講習しています。 園、学校、町内の行事、医学展など様々 Live Aid Kanazawaは幼稚園、 保育

BLSとは、急病人に対して居合わせ

知っていただき、いざというときに適切 臓マッサージ、AEDを使用すること 行う応急処置のことです。なかでも、 えています。 AEDの使い方を中心にわかりやすく教 に動けるよう、心臓マッサージの方法、 は非常に重要です。多くの人にBLSを た人が救急隊や医師に引継ぐまでの間に

学ぐらいだと聞いております。金沢大学 生で行うのは大変です。けれども、得ら S講習会を年四回ほど開催しています。 生にご協力いただき、学生が学生に講習 の学生として誇ることのできる活動であ HAの講習会を行っている学校は金沢大 ように学生が学生に教えるという形でA れることがとても多いです。また、この 会場準備から運営、後片付けまで全て学 するという形でAHA―BLS/ACL ています。福井済生会病院の竹越靖夫先 更に、私達は医学類内で講習会も行っ そのような活動に参加できることを



りました。この活動が今後も続き、BL 通して、人に教えることの大切さ、大変 参加してから六年経ちました。この活動を Sが普及することを祈っています。 し学び、身体で覚えることの重要さを知 さ、活動を広めることの難しさ、繰り返 早いもので、私がLive Aid Kanazawaに とても嬉しく思います。

県済生会病院・竹越靖夫先生、そして、 ぞよろしくお願いいたします。 に厚く御礼申し上げます。今後ともどう 活動をご支援くださる十全同窓会の皆様 力くださる救急部・稲葉英夫教授、 末筆ではございますが、ご指導・ご協

(Live Aid Kanazawa代表 医学類六年 加畑 映理子

記

医学展を終えて

お喜び申し上げます。 におかれましては、益々ご健勝のことと 初春の候、十全同窓会会員の諸先生方

申し上げます。 を賜り、医学展実行委員会一同深く御礼 ました。十全同窓会の皆様方には、医学 らず、六、○○○人以上の来場者を迎え 展二〇一四開催に向けてご支援、ご協力 て盛況のうちに無事閉幕することができ 展二〇一四は、二日目の悪天候にも関わ 十一月一、二日に開催されました医学

広げていきたいという願いです。 を通して、学生同士で繋いだ輪を、さらに そしてもう一つは、来場者の方々との交流 繋ぎ、大きな輪を創ってほしいという願い。 の活動の中で、学類学年の枠を越えて絆を 私達の地域、金沢市、そして石川県全体に 大学医薬保健学域の学生同士が、医学展 いが込められておりました。一つは、金沢 マを掲げました。このテーマには二つの願 医学展実行委員は ″ツナグ゜』 というテー 今年度の医学展の開催にあたり、私達

康診断、心カテ体験、外科手技体験に加え、 そこで、今まで行ってきた病院見学や健

> じてもらえるよう、 定し、来場者の方に、医学をより身近に感 ングなど、今までになかった企画も多数予 ツ医学をベースにした怪我予防のトレーニ 迷路や、肉眼では不可能な顕微鏡手術(マ 新たに、人の消化管をモチーフにした人体 イクロサージェリー)の疑似体験、スポー 全体として学生との交





北陸新幹線の開業

当日は、

来春の

ふるさと石川 医療を守る集いin東京 0

り組んでいます。 師不足地域における地域医療を確保する ために、地域医療を担う医師の招聘に取 石川県では、能登北部医療圏などの医 平成二十六年十一月

東京」を開催いた 医療を守る集いin 九日、十全同窓会 介させていただき のご協力のもとに しましたので、紹 「ふるさと石川の この集いは、

金沢医科大学の関 ものです。東京で 目指して開催する を収集することを る医師の人材情報 だくとともに、U 流を深めていた 医師の方々の交 だきました。 方々にご参加いた 係者など七十名の たが、金沢大学や 二回目となりまし 二十一年度以来、 **ーターンを希望す** 開催は、平成

都圏で活躍されて いる本県ゆかりの ふるさと石川の医療を守る集い in東京

> 語・江戸本店」などを見学いただいた後、 を目前に控え、銀座にオープンした新し 流会を開催しました。 東京ステーションホテルにおきまして交 いアンテナショップ「いしかわ百万石物

事からの来賓挨拶、金沢大学十全同窓 交流会は、石川県の竹中博康副知事 の挨拶、日本医師会の小森貴常任理

科大学 使」(五十音順に、く 会の中村信一会長の乾 るさと石川の医療大 杯挨拶で始まり、「ふ 医学系研究科救急医学 教授、東京大学大学院 教育国際協力センター 島譲二院長、聖マリア ぼじまクリニック 人教授、東京大学医学 ンナ医科大学消化器・ 般外科部門 大坪毅 矢作直樹教授)から 北村聖教授、日本医 木田厚瑞特任

だき、 0) 勝田省吾学長の中締め がら親睦を深めていた 石川県産の海の幸、 きました。参加者には、 現況などを紹介いただ 研修医が能登北部医療 アンナ医科大学などの 順にスピーチをいただ 医療研修を行っている き、東京大学や聖マリ 挨拶で盛会の内に、 幸を堪能いただきな 「の病院において地域 金沢医科大学の

> 場となりました。 飾るステンドグラスの作成や、 の学生の皆さんと協力し医学展の玄関を と、医学展を通じて様々な方と交流できる のプロモーションビデオの作成を行ったり 両学園祭

医学展がこの先どのような方向へ向かう かは分かりません。しかし、発信・交流 おいて改善すべき点が未だにあります。 今年で復活から八回目となる医学展で が、組織や資金繰りなどの様々な面に







今回の集いを契機として、UIターンを 月からは木田厚瑞特任教授からのご紹介 域医療人材バンク」を設けていますが、 に向けた取組を計画いただいています。 能登北部医療圏全体の呼吸器診療の充実 に公立穴水総合病院にご着任いただき、 により、石崎武志先生(福井大学元教授) を斡旋させていただいており、本年十二 のご支援もあって、これまでに十名の方 十全同窓会や「ふるさと石川の医療大使」 県では、平成十七年度から「石川県地

> だき、ご指導、ご鞭撻の程宜しくお願い ことが次につながるよう支援していく所 様の期待に応えるべく、私たちが行った 申し上げます。 医学展の更なる発展のためとご理解いた 存でございます。十全同窓会の皆様には、 したいという学生の想いと、来場者の皆

玉木 理仁 記

(医学展二〇一四実行委員長 医学類五年



すようよろしくお願いいたします。 の更なる向上につなげていきたいと考え かれましては、ご理解とご協力を賜りま ておりますので、十全同窓会の皆様にお 希望する医師の招聘や石川県の地域医療

集いは終了しました。

表して今回の集いにご出席を賜りまし た、中村信一会長に心より感謝申し上げ 最後になりましたが、十全同窓会を代

(石川県健康福祉部地域医療推進室 慎吾 記

十全昔

話

青春時代の思い出

恩地 一彰 (昭和三十四年卒業)

生流の謡の渋い声に高下駄をカランコロ と何処からともなく聞こえてくる加賀宝 木町、主計町通りの界限を散歩している 湯の帰りに風呂桶片手に浅野川添いに並 町武家屋敷の旧家が立ち並び加賀百万石 花にも涙を注ぎ 別れを恨んでは飛び立 五升で下宿しました。「国破れて山河在 うもの」と室生犀星が詠ったように金沢 にも昇る心地でした。 の情緒が漂う閑静な町でした。夕方、銭 の時代でした。近所には昔ながらの城下 三六〇円、米は配給制で米穀通帳が必須 われた戦後の時代でした。当時は一ドル は暗い占領国日本Occupied Japanと言 つ鳥にも心を驚かす」と春望として杜甫 り 城春にして草木深し 時に感じては 上げてきた老夫婦のもとに月五千円に米 にある天神橋の近くに戦後中国より引き た。最初の二年間は卯辰山の登り口の麓 (七一二一七七〇) が詠ったように当時 に下宿して全てが珍しい体験の連続でし ンと足音を響かせながら闊歩するのは天 昭和二十八年 (一九五三) 高校卒業 初めて親元を離れ「遠きに在りて想

"Beware of the Ides of March. Et tu,Brute?" (44/03/15BC)

近所にはシェークスピアWilliam 近所にはシェークスピアWilliam が住んでおられました。美しい韻律を含 44BC)を習った英文学者神保竜二先生 44BC)を習った英文学者神保竜二先生 はいばれておられました。

> りの格言」は健在を歴史は教えてくれて 明智光秀に殺害され、東西古今、「裏切 関ヶ原合戦 (一六〇〇) の頃、本能寺の ザーの一語だけでした。シーザーはドイ もか」と最も信頼していた腹心の部下ブ "Et tu, Brute?"「ブルータスよ りある思い出となりました。記憶力の弱 います。 変(一五八二)で織田信長の腹心の家臣、 た。一方、わが国では天下分け目の戦い、 ツ語のKaiser皇帝の語源ともなりまし の最後の台詞(44BC)となった、シー ルータス (?-?BC) に暗殺される寸前 言」として有名な名セリフはラテン語の い小生の脳裏に今も残る「裏切りの格 ビエLord Laurence Olivier (一九〇七 の名台詞とともに名優ローレンス・オリ た先生の格調高い英語はシェークスピア 一九八九)の名演技を連想させるに余 お前

終戦までは皇国史観の基本理念に基づ とっては現人神から人間天皇へ、鬼畜米 とっては現人神から人間天皇へ、鬼畜米 とっては現人神から人間天皇へ、鬼畜米 をから米国一辺倒へ、英語は敵性語から 再本Occupied Japanへと波乱万丈の時 代でした。生命科学では環境因子が遺伝 代でした。生命科学では環境因子が遺伝 でした。そして医学はドイツ医学から 米国医学へと大転換の時代でもありまし た。

な映画館でもありました。落第、ビーコ時折往年の名画を安く見せてくれる貴重場料三十円の場末の劇場がありました。当時小立野に三文映画を三本で入した。当時小立野に三文映画を三本で入した。当時小立野に豊かな小立野で過ごしま

大学・ は老伴、手を取り合って映画を観賞しに来ておられました。劇場内で会釈すると来ておられました。劇場内で会釈すると来ておられました。劇場内で会釈すると来ておられました。劇場内で会釈すると来ておられました。劇場内で会釈すると来ておられました。劇場内で会釈すると来ておられました。劇場内で会釈すると来ておられる」と。畏れ多い滅相もないと目玉パチクリ。教授は満更でもないようなご様チクリ。教授は満更でもないようなご様チクリ。教授は満更でもないようなご様子でした。案の定、大半は落第、そして手でした。案の定、大半は落第、そして手でした。案の定、大半は落第、そして手がのる一人な事がでした。 ・で柔道部の猛者と下宿しました。先輩がで柔道部の猛者と下宿しました。先輩がで柔道部の猛者と下宿しました。先輩がでまる時間は今は亡き先輩がで表するといいといいます。

りとなっています。 ました。先輩は嫌な顔もせずにやっとの の小生もたまらない。捕ようとするが糞 ちて這い上がり全身糞だらけのまま小生 でした。ある夜、事も有ろうに便所に落 夜を共に過ごしました。美貌の三毛猫と 床には毎晩のように三毛猫が入ってきて 頸の先輩に改めてお礼を云いたいと心残 た時は糞だらけの小生を助けてくれた刎 カ月以上を要しました。冥土でお会いし の布団は糞の臭いから解放されるには数 を沸かして盥の中で行水させたが、小生 思いで捕えてくれました。それからお湯 け。たまらなくなって先輩に救援を求め の部屋を逃げ回る。小生の部屋は糞だら で滑って鰻のようにスルリスルリと小生 の寝床にもぐり込んできました。さすが 体温の温もりを共有出来るのは大変幸せ む音に安心感を覚えました。小生の万年 階段を登り降りする度にミシミシときし で柔道部の猛者と下宿しました。先輩が

ました。丸岡町出身の小説家、中野重の思い出の一部を拙文として書いてみ小生の泥(糞)にまみれた青春時代

当時は本場のアルプス登山などは夢の又 語由来の山岳登山用語も多く、その頃、 山の魅力をかき立てられました。ドイツ ス紀行 (Aus der Schweiz) を習い、 Goethe (一七四九―一八三二) のスイ 生にはゲーテJohann Wolfgang von 恩師、ドイツ語の伊藤武雄先生(一八九五 神々しさは今も尚、我が脳裏に焼き付い きりと浮かぶ富士山の山頂のご来光の ました。そして奥穂高で見た雲海にくっ 高を縦走したのも懐かしい思い出となり 休暇に日本アルプス、上高地西穂高奥穂 壁」の感激を身を以て体験しようと秋の スイス紀行が体験できるそうです。しか 夢、最近はスイスの氷河鉄道でゲーテの いう小説がベストセラーになりました。 乙、京大出身の小説家井上靖 (一九〇七 やはり伊藤先生の教え子である四高理 ―一九七一)とか。名講義をされた先 独文科出身の中野重治の四高文乙時代の す。一説によると登場人物の一人は東大 良き金沢の町並みが美しく描かれていま 描いた自伝的小説「歌の別れ」には古き 治 (一九〇二―一九七九) の四高時代を し伊藤先生の名講義を回想しながら「氷 ―一九九一)の「氷壁」(一九五七)と

名な伊藤武雄先生の往年のドイツ映画でドイツ文学者で映画評論家としても有来、四高時代から学生から慕われた恩師来、四高時代、名講義をされて大正七年以学生時代、名講義をされて大正七年以

"Das gibt's nur einmal. Das kommt nicht wieder.

Das ist vielleicht nur Traeumerei. Das kann das Leben nur einmal geben."



そして眼科医になって私の学生時代、

藤村 和昌(昭和三十九年卒業)

①医学部学生時代

たのだろうか。教養部では、ドイツ語をした私は、学生時代をいかに過ごしてい昭和三十三年四月に金大医学部に入学

もっと学んでおけばよかったと思う。かった。語学は暗記だから、若いうちにしたのを覚えているが、ものには出来なだ。ロシア語や中国語の講義にも顔を出選択したが、ろくに勉強しなかったよう

当時は、部活動として医学部山岳部と金沢大学合唱団に入っていた。これら二金沢大学合唱団に入っていた。これら二を深め、他学部の学生とも交流して多くを深め、他学部の学生とも交流して多くを深め、他学部の学生とも交流して多くを深め、他学部の学生とも交流して多くを深め、他学部の学生とも交流して多くを深め、他学部の学生とも交流して多くを深め、風邪をひいたり、腹痛のある登山者や、典型的な粘血便の赤痢患者を初めて見ることが出来た。山岳診療者を初めて見ることが出来た。山岳診療者を初めて見ることが出来た。山岳診療者を初めて見ることが出来た。山岳診療者を初めて見ることが出来た。山岳診療があった。

こともあった。黙祷しながら、楽しい登が運ばれて来て、診療所に一夜安置した剣岳で滑落して死亡した登山者の遺体

しい現実を目の当たりにした。山でも死ぬことがあるという、厳しく悲

眼科医になって

私が医局にいた頃から四十年、眼科の 進歩はめざましい。最も顕著なのは白内 障だろう。かつては、術後に高度の凸レ ンズの眼鏡をかけなければならなかった のに、今は顕微鏡下の小切開手術で、濁 のを吸引した後に眼内レンズが挿入され る。ごく自然な見え方となり、入院はあ る。ごく自然な見え方となり、 とはあ る。ごく自然な見え方となり、 といる となった。

あの頃、倉知教授は、これからは硝子体が大きな研究対象になるだろうと仰った。網膜剥離だと完治が困難な場合もあっの網膜剥離だと完治が困難な場合もあっの網膜剥離だと完治が困難な場合もあった。今は、硝子体手術が普及し、眼球内がった。また、重症糖尿病網膜症も硝子がった。また、重症糖尿病網膜症も硝子がった。また、重症糖尿病網膜症も硝子がった。また、重症糖尿病網膜症も硝子体がった。また、重症糖尿病解析。これからは硝子体が大きな研究対象になるだろうと仰ったので、

根科医局にいた頃、抗VEGF (血管 ・ はたして実現するのかなと思っていた。 ところが四十年も経って、その薬剤が実用 がはたして実現するのかなと思っていた。 がはたして実現するのかなと思っていた。 がはたして実現するのかなと思っていた。 がはたして実現するのかなと思っていた。 がはたして実現するのかなと思っていた。 がはたして実現するのかなと思っていた。 がはたして実現するのかなと思っていた。 がはたして実現するのかなと思っていた。 がはたして実現するのかなと思っていた。

かった。しかも年齢とともに発症率が高い緑内障患者よりもずっと多いことが分内障と同じ病態になる患者が、眼圧の高は眼圧が正常値であるにもかかわらず緑は眼圧が正常値であるにもかかわらず緑がその後、疫学的調査によって、日本でがるので、ところは眼圧が高

③医学生の皆さんへ

私が医学部に入学した頃の授業料は年私が医学部に入学した頃の授業料は年の納付した。若かった当時の記憶をたぐっても、この授業料は決して高くないぐっても、この授業料は決して高くないと感じていた。すなわち、我々は国の医と感じていた。すなわち、我々は国の医と感じていた。すなわち、我々は国の医と感じていた。すなわち、我々は国の医と感じていた。すなわち、我は学生時代にこのことを考えても、私は学生時代にこのことを考えても、私は学生時代にもっと勉強すればよかったと後悔していることを学生の皆さんに伝えたい。

会社などの組織では、理不尽ないじめ会社などの組織では、理不尽ないじめやノルマ等があって苦労することがあるやノルマ等があるので幸いにもそのようならも干渉されずに一匹オオカミ、あるいらも干渉されずに一匹オオカミ、あるいらも干渉されずに一匹オオカミ、あるいは一城の主のような存在となりやすい。気を付けないといけないのは、孤立、気を付けないといけないのは、孤立、社会の常識から外れないように留意したいと思う。そのために医師会や学会等があったりと思う。そのために医師会や学会等の会合に積極的に参加して情報交換に努め、出来れば医療以外の分野での活動である合に積極的に参加して情報交換に努め、出来れば医療以外の分野での活動で広く大勢の人たちと交わるのも有益だと広く大勢の人たちと交わるのも有益だと

学 生 \Box ナ

四年生を終える今、 感じること

医学類四年 山崎 孝明

生コーナーへの寄稿の依頼をいただきま せていただきたいと思います。 山崎孝明と申します。この度は会報の学 したので、主に講義と部活を中心に書か ておめでとうございます。医学類四年の 十全同窓会会員の皆様、新年あけまし

疾患の多さには、驚かされます。糖尿病 講義では今までにもまして多くのことを 機能、疾患の原因などを学ぶのに対し 学を学びます。基礎医学が人体の構造や 覚えねばならず暗記量は膨大なものとな 学、病因、症状、診断方法、治療などを り切ります。また各疾患についても疫 たらどうするの?』と自分を鼓舞して乗 という疑問が湧くこともありますが『自 な疾患まで覚え無くてはならないのか? せん。罹患率十万人に一人…?なぜこん やウィスコット・アルドリッチ症候群と もちろんですが、多発血管炎性肉芽腫症 や心筋梗塞といったコモンディジーズも 覚えなくてはなりません。殊に出てくる くのだと再度実感する時期であります。 直結する知識を学びます。講義を受けて て、臨床医学では治療や診断など医療に 循環器内科学や整形外科学などの臨床医 基礎医学を学ぶのに対して、四年生では 分がこの患者さんを診る最初の医者だっ いった稀な疾患まで覚えなくてはなりま いる身としてはいよいよ医者になってい 三年生までに生理学や微生物学などの

先日やっと秋学期の十五科目の試験を

講義内容を重要度の高いものに絞ると同 されているそうです。ふと思ったのが、 えばいいと思うのです。 ようなメディカルスクール制にしてしま 制は冗長になるからいっそのこと米国の て講義をスリムにしていけば医学部六年 ヒトでしか出来ない部分を磨く。そうし すると。ITでできることはITに任せ、 質的理解と臨床や研究への応用力を要求 どうでしょうか。その代わり学生には本 時に内容の重複を避けてスリム化したら ンピュータソフトウェアが開発、実用化 すれば可能性の高い疾患が表示されるコ ところ、近年では症状や検査数値を入力 勉強はどうにかならないものかと調べた 終えほっとするとともに、暗記ばかりの

なく』とか『お金が稼げそうだから』と 神的成熟度が高く医師になろうという動 動機の問題です。御存知の通り米国のメ 制を導入したらよいのに、と思っていま いるのは少々問題かと思います。また、 かいう理由で医学部に入ってくる人が 言われています。『成績がいいから何と 機の強い人が集められるからと一般には す。そのメリットとしてより社会的・精 卒業した人にのみ受験資格が与えられま ディカルスクールは一般の四年制大学を が二つあります。一つ目は医学部へ入る 本学に入学しました。そこで感じたこと す。私自身、他の大学を卒業した後に 本にも米国のようなメディカルスクール メディカルスクールついでに、私は日

> もう少し一般教養を充実させては?と思 な医師といえ、診る患者さんは一般の人。 効いてくる学問です。専門的知識が必要 とは異なる価値観を知り自分を相対化し を広げてくれますし、地域社会学は自分 けの科目。思想や哲学などは考え方の幅 れており、多くの学生にとってこなすだ キュラムにすべての教養科目が詰め込ま はないかということです。一年生のカリ 以外かを選択しなくてはならないのは荷 十八才の高校生が将来医者になるかそれ なければなりません。そういった意味で こちらも幅広い考え方や価値観を備えて も即効性はありませんが人生にじわじわ て考えることを教えてくれます。いずれ 二つ目は一般教養が蔑ろになっているで いく選択となるのではないでしょうか。 ても全然遅くないですし、むしろ納得の 大学を卒業し二十二才になってから決め 重大な職業に就くわけですから四年制の が重いと思います。殊に医師という責任

張ってきた身としては悔しいやら、申し 張って西医体を成功に導いてくれた級友 幹となり行われました。大会には千単位 たいと思います。多くの部活では四年生 惨敗。部長として一年間ボート部を引っ 部も西医体に出場しました。が、結果は いと思います。さて、我が医学部ボート 達にこの場を借りて再度お礼申し上げた 量は膨大です。勉強や部活のあるなか頑 の人と億単位のお金が関わり主幹の仕 なります。本年の西医体は金沢大学が主 大学体育大会に出場後、四年生は引退と くは毎年夏休みに行われる西日本医科 が引退を迎えました。医学部の部活の多 話を学生生活に戻し、部活動の話をし

> ような機会を与えて頂いた先輩や後輩 来たことは良い経験となりました。この れば良いと今は思っています。部長を出 立たず、これからの部活に活かせていけ を持つべきであったと。ですが後悔先に ケーションを取り、本音で語り合う機会 はと思います。もっとしっかりコミュニ す。しかし今にしてみれば部長がもう少 量を増やすことに反対の声が多かったで 入部した人も多い。そこで途中から練習 多様な人が居て、それができるからこそ 優先する人、趣味も大事にしたい人など 習量の多い部活ではなかったので勉強を いく難しさを痛感しました。もともと練 ポテンシャルの異なる人達を引っ張って してみては?そこで、モチベーションや では、強い大学と同じくらいの練習量に い大学はもっと練習しているのでした。 ニューもきつくしたのに…。しかし、強 訳ないやら。練習量も増やしたし、 し熱意をみせて引っ張っていけたので

同期の皆には本当に感謝しています。 最後になりますが、十全同窓会の先輩



◆寄附制度のご案内(金沢大学医学教育研究支援寄附金)◆

近年、国立大学法人の改革強化・促進が国の施策として急速に進められる中、医学類・医学系においても、実施すべき事業が次々と生じております。本来ならば、これらの事柄は大学の予算により実施すべきところですが、昨今、本学の財政状況は逼迫しており、部局に対して十分な予算措置が行われない状況です。

医学類・医学系としては、自助努力の方策を模索せざるを得ず、その一環として、新た に、本学類・系が行う教育・研究に役立てることを目的とした《**金沢大学医学教育研究支 援寄附金**》を起ち上げた次第です。

本学の医学教育研究のさらなる充実発展のため、同窓会会員の方々におかれましては、 今後とも格別の御支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

金沢大学 医薬保健学域 医学類長 多久和 陽 医薬保健研究域 医学系長 金子 周一

【担当(お問い合わせ先)】

〒920-8640 金沢市宝町13-1 医学類B棟1F 金沢大学医薬保健系事務部会計課経理係

Tel: 076-265-2115

E-mail: t-keiri@adm.kanazawa-u.ac.jp

【お申込方法について】

- 1. 電子メール又は電話でのお申込み 上記担当まで電子メール又は電話にてご連絡ください。折り返し、申込書を送付させていただきます。
- 2. 現金のお持ち込み(受付時間:月〜金(祝・休日を除く)9:00 \sim 17:00) 上記担当まで現金をお持ち込みいただければ、そのままご寄附いただけます。なお、あらかじめご連絡いただければ、 手続きにお時間をとらせることはありません。

【税法上の控除について】

- ・ 寄附者が個人の場合は、所得税法上の寄附金控除対象となる特定寄附金として、確定申告の際、所得から控除され、税法上の優遇措置を受けることができます。また、石川県内在住者の寄附は、石川県や県内市町村からの個人住民税の控除を受けることができます。(※総所得の40%を限度として、所得税法、地方税法ともに2千円を超える寄附額)
- ・ 寄附者が法人の場合は、法人税法上の全額損金算入が認められる寄附金として、法人の所得から控除でき、税法上 の優遇措置を受けることができます。

第八回 金沢大学ホームカミングディ

平成二十六年十一月一日(土)、本学年成二十六年十一月一日(土)、本学学ホームカミングデイを開催しました。
常迎式典には二百三十三名、記念懇親交
なの式典には二百三十三名、記念懇親交
ないました。

メッセージをいただきました。記念講演生であるデービッド・クライン博士から後、山崎学長による金沢大学の近況報告、後、山崎学長による金沢大学の近況報告、後、山崎学長による金沢大学の近況報告、を済唱しました。山崎光悦学長の歓迎挨を済唱しました。山崎光悦学長の歓迎挨を済唱しました。山崎光悦学長の歓迎挨を済唱しました。山崎光悦学長の歓迎挨を済唱しました。記念講演を済むから、金沢大学フィルハーモ歓迎式典では、金沢大学フィルハーモ歓迎式典では、金沢大学フィルハーモ

演いただきました。 康、不老長寿の意義と秘訣についてご講康、不老長寿の意義と秘訣についてご講蔵氏(昭和三十五年薬学部卒業)に、健株式会社代表取締役会長・社長 明壁義では、「不老長寿」と題し、スノーデン

記念式典終了後には、金沢大学学友会を登録同窓会への入会について報告がないました。

小畑外嗣金沢工業会会長の音頭による万次回、第九回金沢大学ホームカミングデイは、平成二十七年十一月一日(日)で、国、第九回金沢大学ホームカミングの開催を予定していますので、この前後の同窓会の開催をご計画いただき、懐かの同窓会の開催をご計画いただき、懐かい母校にぜひお越しください。

(学友支援室長 上地 進 記)



金沢大学医学部十全同窓会会報編集委員のご紹介

不老此

副委員長)、中西清香の十二名。裕之、横山茂、絹谷清剛(編集委員長)、和田隆志、佐々木素子、若山友彦(編集学内編集委員は、中村信一、山本博、山岸正和、太田哲生、蒲田敏文、中村

横山仁、大島徹、横山修、常山幸一、中本安成の十八名。淳文、赤祖父一知、佐藤保、三輪晃一、橋本琢磨、勝田省吾、山本健、大村健二、学外編集委員は寺畑喜朔、山口成良、柿下正雄、津川龍三、興村哲郎、多留

金沢大学ホームカミングデ

歓迎式典で歓迎の挨拶を述べる山崎光悦学長

以上三十名で構成されています。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。 大井章史 (十全同窓会理事長) には、編集委員会にご参加いただいております。

編集後記

高唱もあり、大いに盛り上がり、最後は

新年あけましておめでとうございま
新年あけましておめでとうございま
新年あけましておめでとうございま
新年あけましておめでとうございま
新年あけましておめでとうございま
新年あけましておめでとうございま

益々のご活躍をお祈り申し上げます。 中田光俊先生と菊池充先生は、ともに本 学を平成六年に卒業した同窓生になり 学を平成六年に卒業した同窓生になり 学を平成六年に卒業した同窓生になり が記事が掲載されています。中でも、 が記事が掲載されています。中でも、

学類・医学系も国際化がより進むものと す。詳細は記事に譲りますが、今後、医 らないと信じています。 先生方をつなぐ架け橋であることは変わ れるかもしれません。時代は変わっても、 窓会報にも留学生からの寄稿記事が見ら みたいと思います。十年後には、十全同 な国際化として留学生との交流を深めて るようになりました。個人的には、身近 留学生を宝町キャンパスでもよく見かけ アジア各国はもとよりアフリカ等からの 思われます。気付けば、学生時代よりも た金沢大学の取り組みが掲載されていま ル大学」への採択により、国際化に向け 十全同窓会報が金沢大学医学類と会員の また、金沢大学の「スーパーグローバ

(若山 友彦 記